

# 関西医科大学 広報



医学部棟横のバラ園

## 見頃を迎えた大輪のバラ

Vol.54

### CONTENTS

トピックス：副理事長職の新設と任命について・副理事長挨拶 P.1

トピックス：光免疫療法センター開設 P.4

トピックス：THEアジア大学ランキング2021ランクイン P.4

大学：シェイク・アンタ・ジョップ大学  
学術交流協定締結 P.6

大学：令和3年度科学研究費助成事業  
交付内定者一覧他 P.10

病院：アレルギーセンター・オンライン  
ミニセミナー P.25

## 副理事長職の新設と任命について

理事長 山下 敏夫

本法人の事業規模は10年前の約2倍と毎年拡大を続けています。とくに最近、くずは病院を加えた附属4病院の機能拡充に加え、大学自体も看護学部やリハビリテーション学部の新設など医療系複合大学として大きな変革を遂げています。更に直近では関医タワーの建設や光免疫医学研究所開設に加え、附属病院別館建設や総合医療センター西館建設など予定事業も目白押しです。このような状況下で理事長である私の業務量も目一杯となってきましたので、理事長を直接サポートしていただく副理事長職の新設を願い、3月の理事会で審議のうえ承認していただき、また5月に文部科学省の認可を得ました。

次いで人選ですが、澤田常務理事はこれまで附属病院長として病院の経営・管理に、また常務理事として建設を含む施設設備に卓越した能力を発揮されてこられたことは皆様ご存知の通りです。更に理事長である私を陰になり日向になり支えていただいていることもあり、余人をもって代えがたしという想いで澤田常務理事を5月の理事会で副理事長に推挙し承認され、本年6月1日よりその職に就いていただいております。以上、副理事長職の新設と澤田新副理事長就任について報告いたします。今後のご活躍を大いに期待するところであります。

### ◆ご挨拶

## 副理事長を拝命して



副理事長 澤田 敏

本年5月26日開催の理事会において、山下敏夫理事長の推挙により、同年6月1日付で小生が副理事長職を拝命いたしました。

小生にとって、副理事長職は、理事長の直下として理事長を補佐し、学校法人の進むべき方向性や構想の立案、経営判断、新しい事業展開を策定するなど極めて責任の重い要職であると認識しており、まさしく身の引き締まる思いと同時に、身に余る光栄と心から感謝を申し上げたいと思います。これまでも教授職を退任後、附属病院長や常務理事として、「利他の精神」にて法人経営に対する奮励努力をいたして参りましたが、今後も、これまでと変わることなく、法人を俯瞰する立場から職責を全うしたいと考えております。この挨拶文を書いている時点で、もうすでに山下理事長からは、具体的には申せませんが、経営改善策の早期策定など矢継ぎ早に多くの御指示を頂いております。小生自身は、理事長からの御指示をその背景に至るまで十二分に理解し、私のプラスアルファを付け加える結論が出せればという気持ちで職責を果たしていく所存です。更に、本学が果たすべき社会的責任をも考慮し、近年、注目を浴びているSDGsの精神を保ちながら社会全体の持続的な発展にも本学は寄与していかなければならないと考えております。

このように、今後、学校法人関西医科大学が教育、研究、診療、経営及び社会貢献を始めとする多方面への更なる飛躍を目指す中で、小生が微力ながらその一翼を担うことができれば身に余る幸せでございます。

今後とも宜しく願い申し上げます。



# 令和2年度事業報告

本学の令和2年度事業報告をとりまとめ、公表しました。主な内容は以下の通りです。

今後は、関西医科大学附属光免疫医学研究所開所、タワー棟竣工、附属病院別館建設なども踏まえ、さらなる教育・研究・診療の充実をめざします。

## 法人

### ●タワー棟建設計画

国際交流施設等の整備を目的に建設工事を推進するとともに、内装等の詳細について検討を進めました。

### ●関西医科大学附属光免疫医学研究所

光免疫療法の研究拠点となる「新医学研究所設置準備室」を開設し、本格的な準備作業を開始しました。

### ●附属病院別館建設

近年の附属病院における患者数や病床稼働率の増加に鑑み、今後の更なる発展のため、建物の拡張やリニューアルの計画に着手しました。

### ●リハビリテーション学部設置準備

10月に文部科学省から設置の認可を得て、令和3年2月に牧野キャンパスの学部棟の竣工式を挙行了しました。

### ●オール女性医師キャリアセンター設置

全ての女性医師にとって安心して勤務できる職場環境を構築することを目的として、令和2年4月1日付、オール女性医師キャリアセンターが設置されました。

## 教育

### ■医学部・医学研究科

#### ●分野別認証評価受審

一般社団法人日本医学教育評価機構による分野別認証評価を受審し、高い評価を得ました。

#### ●修士課程の認可取得(医学研究科)

10月に文部科学省から設置の認可を得て、6名の入学を受け入れました。

### ■看護学部・看護学研究科

#### ●「国試対策支援」プログラム開始

12月から、看護師、保健師、助産師国家試験受験を見据えた「国試対策支援」プログラムをスタートさせました。

#### ●「研究者コース」増設(看護学研究科)

大学院充実を目的とし「研究者コース」に6分野のコース増設を図り学生募集に努めました。

## 研究

### ●科研費等獲得増加

令和2年度の194件から、令和3年度の214件へと、科研費の新規・継続の採択件数が増加しました。

### ●日本医療研究開発機構(AMED)公募課題採択

AMEDが公募する課題に研究代表者として5件が継続され、また全国10拠点大学によるAMED橋渡しプログラムの令和3年度の実施課題として7件(予定含む)が採択されました。

### ●医療ニーズ発表会開催

本学発の新規医療機器の創出のため、医療ニーズ発表会を開催しました。

## 診療

### ■附属病院

#### ●医療機器更新

MRI装置更新、CCUの補助循環用ポンプカテーテル制御装置、耳鼻科の手術用顕微鏡システム、光免疫療法用レーザーシステム内視鏡システムなどを導入し、大学病院としての機能向上に努めました。

#### ●救急医療充実

コロナ禍においても「断らない病院」の実現を掲げ、救急患者の受入れに努め、救急搬送年間3,700件を維持しました。

#### ●COVID-19に対応した検査体制の整備

リアルタイムPCR解析システム、全自動核酸抽出増幅システムを導入するとともに、検査要員を確保し、自院でのPCR検査体制の拡充に努めました。

### ■総合医療センター

#### ●救急医療体制の見直し

責任当直医の職務と権限を明確にするるとともに、救急患者受入れ手順を見直した結果、二次救急患者の受入れ件数が増加しました。

#### ●診療機能強化

重症部門(CCU、GICU、HCU)の再編、歯科口腔外科の再開、血管造影装置の更新等医療機器の計画的購入、脳卒中センターの開設などにより診療機能を強化しました。

#### ●COVID-19患者の診療

多くの新型コロナウイルス感染症重症患者を受け入れました。

### ■香里病院

#### ●病院機能変革

「入院基本料7対1(急性期一般入院料1)」の基準を維持しました。

#### ●介護福祉部門の継続的発展

コロナ禍の中、訪問看護ステーション、ケアプランセンター、デイケアセンターを運営しました。

### ■くずは病院

#### ●病床機能再編

療養病床を廃止し、病床機能を再編しました。また回復期リハビリ病床が34床から52床に、一般病棟が26床に増床、また地域包括ケア病床が26床から16床に減床しました。

#### ●診療体制強化

外来では常勤医師を主体とした診療体制に移行し、回復期リハビリ病棟に専任医師2名を配置、また夕診における整形外科専門診療体制を整備しました。

### ■天満橋総合クリニック

#### ●予約枠の増加

#### ●休日診療の実施

緊急事態宣言の解除後、予約枠の増加、休日診療の実施などの対策を行い、多くの人間ドックや健康診断受診を受け入れました。



## 名誉理事長、名誉学長、名誉病院長称号について

4月1日(木)付で、学校法人関西医科大学名誉理事長、関西医科大学名誉学長及び名誉病院長称号授与規程が制定されました。

6月17日(木)に授与式が行われ、山下敏夫前学長(現理事長)に関西医科大学名誉学長の、附属病院澤田敏前病院長(現副理事長)に関西医科大学附属病院名誉病院長の、総合医療センター岩坂壽二前病院長に関西医科大学総合医療センター名誉病院長の、香里病院高山康夫前病院長(現くずは病院長)に関西医科大学香里病院名誉病院長の称号が授与されました。

	授与対象
名誉理事長	学校法人関西医科大学理事長として本法人の発展に対して特に顕著な功績があったと認められる者
名誉学長	関西医科大学学長として本学の発展に対して特に顕著な功績があったと認められ3期の任期を満了した者
名誉病院長	関西医科大学各附属病院長として各附属病院の発展に対して特に顕著な功績があったと認められ4期の任期を満了した者

## 令和2年度・令和3年度の内部監査

内部監査室長 稲垣千代子

令和2年度内部監査を下記の項目で実施し、その報告及び令和3年度内部監査計画を理事長に提出して承認されました。本年度の内部監査も本学の業務が合法的且つ合理的・効率的に遂行されることを目指して評価し、本学の発展に資する助言ができるよう努めます。

### 1、令和2年度内部監査

以下の項目について点検・調査し、問題点の改善に向けて助言しました。

#### 年次監査

- 1)「公的研究費の管理状況(令和元年度対象)」
- 2)「公的研究費管理のモニタリング(令和2年度対象)」
- 3)「災害対応体制」

### 2、令和3年度内部監査計画(年次監査)

- 1) 監査項目：「公的研究費の管理状況(令和2年度対象)」  
監査対象部門：研究部研究課及び関連部門  
監査日程：令和3年7月～8月  
選定理由：「公的研究費の管理・監査体制に関する規程」  
第18条に定める内部監査

### 2) 監査項目：「情報システム」

監査対象部門：本学全施設  
監査日程：令和3年9月～10月  
選定理由：平成27年度内部監査「情報システム監査」以降の整備状況・現状点検

### 3) 監査項目：「大学院」

監査対象部門：大学院医学研究科及び看護学研究科  
監査日程：令和3年11月～12月  
選定理由：本学の更なる研究力向上に資するための大学院の現状点検

以上

## 慈仁会役員・看護学部保護者会役員について

本年度の慈仁会及び看護学部保護者会主要役員は以下の方々です。

令和3年度慈仁会主要役員
・委員長 磯 彰格 ・会計 月川 裕恵
・監事 田鍋 貴子 ・監事 羽原 弘造

令和3年度看護学部保護者会主要役員
・会長 藍原 雅代 ・会計 弘中 礼子
・監事 後藤 宏美 ・監事 村尾美紀子
・理事 三宅 千鶴 ・理事 橋本 廣明
・理事 後藤 千秋 ・理事 村本 郁子
・理事 山本 綾 ・理事 吉松 佳子
・理事 小西 一誠 ・理事 角田 美樹

※リハビリテーション学部の保護者会については別途お知らせします。



## 光免疫療法センター開設

4月1日(木)、附属病院に光免疫療法センターが開設されました。本センターは岩井大センター長(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座教授)の下、全く新しいがん治療戦略“光免疫療法”を実施するための部門で、毎週水曜午前に専門外来を開設し、光免疫療法の適用判断や治療の施行、予後の管理などを行っています。

光免疫療法は、手術療法・化学療法・放射線療法・免疫療法に続く“第5のがん治療法”として注目を集める治療法で、がん細胞だけに吸着する薬剤を投与した後、正常なヒト組織にはほぼ害を与えない近赤外光を照射することでがん細胞を破壊する画期的な治療法です。

なお、令和4年4月には、所長に光免疫療法の開発者である米国国立衛生研究所(NIH)の主任研究員で、本学客員教授の小林久隆氏を迎え「関西医科大学附属光免疫

医学研究所」を開設します。研究所には光免疫療法に必要な研究部門と最新の機器を整備し、光免疫療法センターと密に連携しながら、基礎研究と臨床研究のサポートを行います。



近赤外光レーザー照射に用いるファイバー

## 名誉教授称号を授与

5月18日(火)14時から、枚方学舎医学部棟13階応接室において「名誉教授称号授与式」が挙行されました。今回は、本学名誉教授称号授与規程の定めるところにより、教授会の議決を経て、英語教室中川淳前教授、微生物学講座藤澤順一前教授、形成外科学講座楠本健司前教授、腎泌尿器外科学講座松田公志前教授へ、それぞれ名誉教授の称号が授与。友田幸一学長が名誉教授称号証書を読み上げ、直接手渡しました。



記念撮影に臨む友田学長(中央)ら

## THEアジア大学ランキング2021ランクイン

6月3日(木)、英国の教育専門誌「タイムズ・ハイアー・エデュケーション」(THE)はTHEアジア大学ランキング2021を発表し、本学は『144』位にランクインしました。国内では国公立の総合大学を含めて14位、関西地区では3位という成績です。

このランキングは、毎年公表されている国際的な大学ランキングのアジア版であり、教育力、研究力、研究の影響力(論文の引用数)、国際性、産業界からの収入の5分野をスコア化し、総合力を測ったもので、ほかのランキングと比べて研究力と教育力に比重を置いた評価が特徴です。今回評価項目の中で、本学は「学生一人あたりの教員数」や「研究の影響力(論文の被引用数)」において特に高い評価を得ました。





## 「施設設備整備拡充事業資金」の募集のご案内

### 令和2年度募金実績報告

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大による未曾有の事態にもかかわらず、皆様の温かいご支援により1億円を超えるご寄付を賜りました。改めて厚く御礼申し上げます。

	件数	金額(円)
同窓生	3	40,100,000
保護者	11	22,000,000
関連業者	1	500,000
教職員	1	36,000
その他	3	13,010,000
相続・遺贈	2	26,671,031
	21	102,317,031

### 令和3年度募集要項

募金の目的：関西医科大学施設設備整備拡充事業資金  
 募集主体：学校法人関西医科大学  
 募集対象：保護者、同窓会員、本学関連の個人及び法人、その他

所得税が最大40%減額されます

詳細は募金室ホームページをご覧ください。募金室までお問い合わせください。

なお、この募金の応募は任意です。

関西医科大学法人事務局募金室  
 〒573-1010 大阪府枚方市新町二丁目5番1号  
 TEL：072-804-2146 FAX：072-804-2344  
 メール：bokin@hirakata.kmu.ac.jp  
 HP：http://www.kmu.ac.jp/donation/index.html

令和3年4月から令和3年6月までにご寄付いただきました方々のご芳名(五十音順)を掲載させていただきます。ご芳志に対して衷心より感謝申し上げます。

ご芳名のwebサイトでの掲載は控えさせていただきます。

本学の未来のため、学生の学びのために、皆様のご協力をお願い申し上げます。

## 今号掲載期間の主な出来事をご紹介します (記事掲載はオレンジ太字)

法人	5月18日	名誉教授称号授与式	
	6月17日	名誉学長病院長称号授与式	
	4月16日	シェイク・アンタ・ジョップ大学と学術交流協定締結	
大学	5月17日	枚方学舎消防訓練	
	5月19日	看護学部第1回学生看護職交流会	
	6月11日	マヒドン大学とのオンライン交流会	
	6月14日	進路指導担当教員オンライン入試説明会	
	6月16日	看護学部第2回学生看護職交流会	
	6月19日	大学院看護学研究科入試説明会	
	6月20日	第1回りハビリテーション学部学舎見学会・相談会	
	6月22日	大学院医学研究科入試説明会	
	6月29日	看護学部進路ガイダンス	
	6月29日	看護学部進路ガイダンス	
附属病院	4月1日	光免疫療法センター開設	
香里病院	5月29日	地域で考える骨粗鬆症連携セミナー	
卒後臨床研修センター	4月1日~4月9日	研修医オリエンテーション	
	5月15日	「研修医と語るう会」Web開催	



## マヒドン大学学生とオンライン学術交流会を実施

6月11日(金) 19時30分から、タイ王国マヒドン大学ラマティボディ病院医学部学生と本学学生らが「Clinicopathological Conference for students」と題するオンラインでのCPCを実施し、友田幸一学長始め両国の学生・教職員ら75名が参加しました。国際交流センター西山利正副センター長(衛生・公衆衛生学講座教授)の挨拶で始まった今回は、病理学講座大江知里講師が司会を務め、70代男性の閉塞性黄疸をテーマに症例報告から鑑別診断まで学生がプレゼンテーション。内科学第三講座池浦司准教授と放射線科学講座河野由美子診療講師が、それぞれの立場から専門的な症例の解説を行いました。また、最後は大江講師が病理医としての病理診断結果を提示し、症例の理解を深めました。両国の学生は今後も継

続的にオンラインで交流を深めることを約束して閉会しました。



オンラインで交流を深める参加者

## シェイク・アンタ・ジョップ大学(セネガル)と学術交流協定締結

関西医科大学は、シェイク・アンタ・ジョップ大学(セネガル共和国)との間で学術交流協定を締結しました。

4月16日(金)、ゴルギ・シス駐日セネガル大使が協定締結のため来学し、日本セネガル友好協会会長の井上一成氏も同席の下、本学枚方学舎医学部棟13階大会議室において、シェイク・アンタ・ジョップ大学(通称ダカール大学)アハマドゥ・アリ・ンバイ学長の署名が入った学術協定書に本学友田幸一学長が署名し、両大学の学術交流協定が締結されました。

今後は両大学の医学教育、教員の能力開発、研究の進展を目的に、シェイク・アンタ・ジョップ大学からの研究者、留学生の受け入れや本学からの教職員、臨床実習生の派遣など、諸方面で協力体制を構築する予定です。



協定書を手にする友田幸一学長(左)と  
ゴルギ・シス駐日セネガル大使(右)

## 看護学部進路ガイダンス開催

6月29日(火)、枚方学舎加多乃講堂において、看護学部進路ガイダンスが開催されました。これは看護学部の3年生を対象にキャリア教育の一環として開かれたもの。看護学部片田範子学部長の挨拶に続き、安田照美統括看護部長ならびに附属病院看護師による関西医科大学附属医療機関看護部の紹介、太田祐子看護学部キャリア支援委員長による「それぞれのキャリアに向けた心構え」と題した講演が行われました。さらに保健師としての就職および本学の大学院・研究者コースに関する紹介、就職市場動向の紹介も行われ、学生たちが熱心に聴講する様子が見られました。

## 令和4年度医学部入学試験概要

試験実施日程								
	特別枠 学校推薦型 選抜試験	一般枠 学校推薦型 選抜試験	特色 選抜試験	一般選抜試験 (前期)	大学入学 共通テスト ・ 一般選抜試験 併用試験	大学入学 共通テスト 利用選抜試験 (前期)	一般選抜試験 (後期)	大学入学 共通テスト 利用選抜試験 (後期)
募集人数	10名	10名	7名	53名 <sup>**</sup>	13名	12名	5名 <sup>**</sup> ※一般選抜試験(後期)と大学入学 共通テスト利用選抜試験(後期) 合わせて5名募集します	
募集区分	専願制	併願制	併願制	一般枠	一般枠	一般枠	一般枠	一般枠
出願期間 <small>※当日消印有効</small>	令和3年11月1日(月) } 11月20日(土)			令和3年12月13日(月) } 令和4年1月13日(木)			令和4年2月1日(火) } 2月17日(木)	
第1次 試験日	令和3年 12月12日(日)			令和4年 1月29日(土)	令和4年 1月15日(土)・ 16日(日)・ 29日(土)	令和4年 1月15日(土)・ 16日(日)	令和4年 3月5日(土)	令和4年 1月15日(土)・ 16日(日)
第1次 合格者発表	令和3年 12月14日(火)			令和4年 2月8日(火)	令和4年 2月10日(木)		令和4年 3月11日(金)	
第2次 試験日	令和3年 12月18日(土)			令和4年 2月12日(土)	令和4年 2月19日(土)		令和4年 3月15日(火)	
第2次 合格者発表	令和3年 12月23日(木)			令和4年 2月17日(木)	令和4年 2月25日(金)		令和4年 3月18日(金)	

※詳細は、令和4年度医学部学生募集要項をご確認ください。

## 令和4年度看護学部入学試験概要

試験実施日程						
	学校推薦型選抜試験		一般選抜試験		大学入学共通テスト利用選抜試験	
	専願制	併願制	2教科型	3教科型	2教科型	3教科型
募集人数	25名	5名	20名	40名	5名	5名
インターネット 出願期間	令和3年11月1日(月) } 令和3年11月5日(金)		令和3年12月13日(月) } 令和4年1月19日(水)		令和3年12月13日(月) } 令和4年1月13日(木)	
書類提出 期限	令和3年11月5日(金) 消印有効		令和4年1月19日(水) 消印有効		令和4年1月13日(木) 消印有効	
試験日	令和3年11月13日(土)		令和4年2月4日(金)		令和4年1月15日(土)・1月16日(日)	



	学校推薦型選抜試験		一般選抜試験		大学入学共通テスト利用選抜試験	
	専願制	併願制	2教科型	3教科型	2教科型	3教科型
試験会場	枚方キャンパス医学部棟		枚方キャンパス医学部棟		大学入学共通テスト各自受験地	
合格者発表	令和3年12月1日(水)*		令和4年2月16日(水)*		令和4年2月16日(水)*	
手続完了期限	令和3年12月10日(金)		令和4年2月25日(金)		令和4年2月25日(金)	

※合格者発表は、本学ホームページ上で行います。また、枚方キャンパス看護学部棟エントランスホールに掲示します。  
入館は、第1・3・5土曜日は13時までです。第2・4土曜日は入館できません。

## 令和4年度リハビリテーション学部入学試験概要

試験実施日程									
		総合型選抜試験 (旧AO入試)	学校推薦型選抜試験		一般選抜試験		大学入学共通テスト利用選抜試験		
			適性能力 試験型	調査書 重視型	2教科型	3教科型	前期 2教科型	前期 3教科型	後期 2教科型
募集人員	理学療法 学科	3名	専願制 17名 併願制 5名	専願制 5名 併願制 3名	7名	15名	2名	2名	1名
	作業療法 学科	3名	専願制 11名 併願制 3名	専願制 3名 併願制 3名	4名	8名	2名	2名	1名
出願期間	令和3年9月27日(月) } 令和3年10月1日(金) 消印有効		令和3年11月1日(月) } 令和3年11月5日(金)	令和3年12月13日(月) } 令和4年1月19日(水)	令和3年12月13日(月) } 令和4年1月13日(木)	令和4年2月14日(月) } 令和4年2月24日(木)			
書類提出期限			令和3年11月5日(金) 消印有効	令和4年1月19日(水) 消印有効	令和4年1月13日(木) 消印有効	令和4年2月24日(木) 消印有効			
試験日	第1次試験 令和3年10月10日(日) 第2次試験 令和3年10月23日(土)		令和3年11月13日(土)	令和4年2月4日(金)	令和4年1月15日(土)・16日(日)				
試験会場	牧野キャンパス リハビリテーション学部棟		枚方キャンパス医学部棟			大学入学共通テスト各自受験地			
合格発表日	第1次試験 令和3年10月15日(金) 第2次試験 令和3年11月1日(月)		令和3年12月1日(水)	令和4年2月16日(水)	令和4年2月16日(水)	令和4年3月7日(月)			
手続完了期限	令和3年11月12日(金)		令和3年12月10日(金)	令和4年2月25日(金)	令和4年2月25日(金)	令和4年3月14日(月)			

## 令和4年度大学院医学研究科学生募集要項（修士・博士課程）

令和4年度学生募集を下記のとおり開始しました。

■募集人員 医学専攻修士課程計8名・医学専攻博士課程計50名（前後期合計）

### ■試験概要

	医学専攻修士課程		医学専攻博士課程	
	前期	後期	前期	後期
願書受付期間	令和3年7月14日(水)～ 令和3年8月18日(水) 【当日消印有効】	令和3年12月15日(水)～ 令和4年1月14日(金) 【当日消印有効】	令和3年7月14日(水)～ 令和3年8月18日(水) 【当日消印有効】 (※外国人入試は9月3日(金)迄)	令和3年12月15日(水)～ 令和4年1月14日(金) 【当日消印有効】
試験期日	令和3年9月4日(土)	令和4年2月5日(土)	令和3年9月4日(土) (※外国人入試は書類審査のみ)	令和4年2月5日(土)
合格発表	令和3年10月13日(水) 正午	令和4年2月17日(木) 正午	令和3年10月13日(水) 正午	令和4年2月17日(木) 正午

※出願資格によっては、事前の出願資格審査が必要な場合があります。

入学試験に関する詳細は、本学ホームページ(<http://www.kmu.ac.jp/juk/gsreb.html>)をご覧ください。出願書類もホームページからダウンロードできます。

## 令和4年度大学院看護学研究科学生募集要項（博士前期・博士後期課程）

令和4年度学生募集を下記のとおり行います。

■募集人員 看護学専攻博士前期課程20名・看護学専攻博士後期課程5名（夏期冬期合計）

### ■試験概要

	看護学専攻博士前期課程		看護学専攻博士後期課程	
	夏期	冬期	夏期	冬期
願書受付期間	令和3年7月30日(金)～ 令和3年8月13日(金) 【必着】	令和3年11月12日(金)～ 令和3年11月26日(金) 【必着】	令和3年7月30日(金)～ 令和3年8月13日(金) 【必着】	令和3年11月12日(金)～ 令和3年11月26日(金) 【必着】
試験期日	令和3年8月29日(日)	令和3年12月12日(日)	令和3年8月29日(日)	令和3年12月12日(日)
合格発表	令和3年9月3日(金) 正午	令和3年12月17日(金) 正午	令和3年9月3日(金) 正午	令和3年12月17日(金) 正午

※出願するコース及び出願資格によっては、事前の出願資格審査が必要な場合があります。

入学試験に関する詳細は、本学ホームページ([http://www.kmu.ac.jp/juk/fon\\_graduate/](http://www.kmu.ac.jp/juk/fon_graduate/))をご覧ください。

## 臨床研修説明会「研修医と語ろう会」を開催

5月15日(土)14時から、令和4年度以降の採用研修医を対象に、臨床研修説明会「研修医と語ろう会」を開催しました。例年では附属病院で対面して行っていましたが、新型コロナウイルス感染症感染対策の観点から、初のTeamsでのオンライン開催としました。事前に接続確認の日を設けた結果、当日は接続不良など大きなトラブルもありませんでした。参加者は主に5・6学年で、東北や九州地区の大学など、全国から59名の医学生が参加しました。

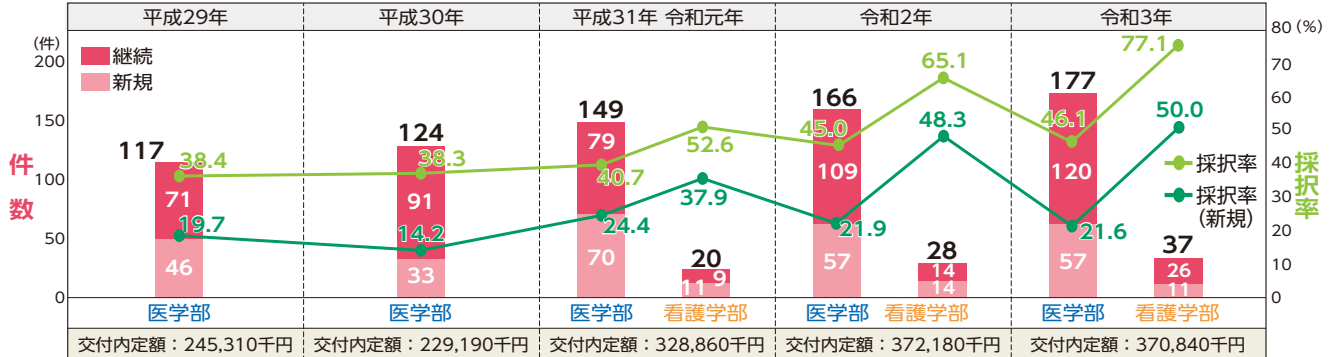
説明会では、卒後臨床研修センター金子一成センター長による開会の挨拶と本学での臨床研修概要の説明をはじめとして、現役研修医5名による研修内容や生活についての説明が行われました。その後の参加者とのリアルタイムでの質疑応答では、時間いっぱいまでセンター長や研修医との活発な交流が続き、大盛況のうちに説明会は終了しました。

# 令和3年度科学研究費助成事業交付内定者一覽他

※掲載情報は申請当時

文部科学省・日本学術振興会関係

平成29～令和3年度科学研究費採択推移



## 令和3年度科学研究費助成事業 (科学研究費補助金) 交付内定額 (代表者分) 一覽

研究種目等	内定件数	交付内定額 (直接経費)	交付内定額 (間接経費)	交付内定額 (合計)
新学術領域研究	3	8,900,000	2,670,000	11,570,000
基盤研究 (B)	21	73,400,000	22,020,000	95,420,000
奨励研究	1	470,000	0	470,000
合計	25	82,770,000	24,690,000	107,460,000

(単位: 円)

## 令和3年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 交付内定額 (代表者分) 一覽

研究種目等	内定件数	交付内定額 (直接経費)	交付内定額 (間接経費)	交付内定額 (合計)
基盤研究 (C)	135	134,400,000	40,320,000	174,720,000
若手研究	59	55,400,000	16,620,000	72,020,000
挑戦的研究 (萌芽)	3	3,600,000	1,080,000	4,680,000
挑戦的研究 (開拓)	1	7,000,000	2,100,000	9,100,000
研究活動スタート支援	2	2,200,000	660,000	2,860,000
合計	200	202,600,000	60,780,000	263,380,000

(単位: 円)

## 令和3年度科学研究費助成事業 (科学研究費補助金) 交付内定者 (代表者) 一覽 (文部科学省・日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
新学術領域研究 (研究領域提案型) 新規	生理学講座	中村 加枝	教授	ストレス下における意思決定破綻メカニズムの時間空間的多層解析	3,000,000	900,000
	生理学講座	倉岡 康治	助教	社会的情報の影響を受ける時間処理における扁桃体と線条体の機能的結合形成	2,000,000	600,000
新学術領域研究 (研究領域提案型) 継続	神経機能部門	小早川 令子	教授	冬眠・人工冬眠・生命保護を結ぶ代謝アダプテーション	3,900,000	1,170,000
基盤研究 (B) 新規	神経機能部門	小早川 高	准教授	先天的恐怖臭による致死的な低酸素環境での生存能力の誘導原理	5,000,000	1,500,000
	神経機能部門	小早川 令子	教授	先天的恐怖行動が持つ生命保護作用の解明	5,000,000	1,500,000
	新医学研究所設置準備室	花岡 宏史	教授	At-211標識アミノ酸を用いた治療効果の高いα線治療法の創出	6,400,000	1,920,000
	脳神経外科学講座	浅井 昭雄	教授	脳腫瘍の再発予知と予防薬の開発	6,100,000	1,830,000
	内科学第三講座	山敷 宣代	講師	禁酒継続に向け医療者-患者双方向を支援するデジタルヘルス環境の構築	2,800,000	840,000
リハビリテーション医学講座	長谷 公隆	教授	片麻痺歩行再建の治療指針を提供するAIシステムの基盤形成	5,200,000	1,560,000	



研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(B)新規	ゲノム解析部門	日笠幸一郎	教授	超精密個別化ゲノム解析法の開発による遺伝性疾患の病因病態解明	2,400,000	720,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	六車 恵子	教授	多能性幹細胞の自己組織化能の促進とアセンブルによる小脳オルガノイドモデルの創出	2,100,000	630,000
基盤研究(B)継続	分子遺伝学部門	木梨 達雄	教授	一分子計測によるインテグリン接着の動的制御の解明	3,900,000	1,170,000
	医化学講座	寿野 良二	講師	バイアスリガンド開発に資するG蛋白質/アレクチン-GPCR複合体の構造解析	2,400,000	720,000
	薬理学講座	中邨 智之	教授	生体組織の伸縮性を生み出すくみの研究	3,900,000	1,170,000
	細胞機能部門	小原 圭吾	講師	新戦略を用いた遺伝子導入技術の開発と成体海馬における「細胞競合仮説」の検証と解析	2,600,000	780,000
	生理学講座	中村 加枝	教授	負の情動下の意思決定行動変容の神経基盤：拡張扁桃体-大脳基底核回路の探求	2,800,000	840,000
	地域看護学領域	上野 昌江	教授	子どもの虐待予防における『行きづらさ』を抱えた人への妊娠期からの支援手法の変革	2,100,000	630,000
	衛生・公衆衛生学講座	甲田 勝康	教授	体脂肪分布が臓器機能障害におよぼす影響についての大規模疫学研究	3,100,000	930,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	玉田 篤史	准教授	ヒト脳オルガノイドの成熟化誘導技術と自動解析技術の開発	3,000,000	900,000
	侵襲反応制御部門	広田 喜一	教授	酸素ホメオスタシス制御を切り口とした麻酔に伴う免疫応答変容の分子基盤解明	3,400,000	1,020,000
	看護学教育領域	安酸 史子	教授	特別な支援を要する看護学生への教育力育成プログラムの開発	2,500,000	750,000
	こども看護学領域	加藤 令子	教授	障がい等のあるこどもが自然災害に備えるセルフケア獲得・定着を可能とするツールの開発	2,300,000	690,000
基礎看護学領域	片田 範子	教授	こどもの生活と発達の「見えづらさ」に着目した状況特定理論の構築	4,700,000	1,410,000	
地域看護学領域	大川 聡子	准教授	10代母親の逆境的小児期体験(ACE)を踏まえた妊娠期からの訪問プログラム開発	1,700,000	510,000	
奨励研究	リエゾン精神看護	吉井ひろ子	専門看護師	日本のコロナ禍におけるギャンブル問題を抱える当事者のリカバリーと再発要因	470,000	0

(単位：円)

### 令和3年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)交付内定者(代表者)一覧(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C)新規	物理学教室	楠本 邦子 (竹本邦子)	准教授	シジミの貝殻色の決定因子の解明：べっこうシジミはなぜ生じるのか	1,200,000	360,000
	分子遺伝学部門	上岡 裕治	講師	細胞接着制御因子Rap1による新たな好中球細胞死制御メカニズムの解明	800,000	240,000
	解剖学講座	大江 総一	助教	脳由来胆汁酸の機能解明と脳梗塞新規治療デザイン確立への応用	1,100,000	330,000
	モデル動物部門	村山 正承	講師	変形性関節症におけるCTRPファミリーの分子機序解明及び治療薬・治療法開発	900,000	270,000
	衛生・公衆衛生学講座	保坂 直樹	研究員	再生胸腺微小環境によるT細胞の誘導- $\gamma\delta$ T細胞の産生と悪性腫瘍への応用-	800,000	240,000
	放射線科学講座	狩谷 秀治	准教授	蛋白付着抑制コートはバイオフィーム形成を阻止しカテーテルへの細菌付着を妨げるか?	800,000	240,000
	生理学講座	安田 正治	講師	臓器感覚入力系におけるモノアミン神経細胞の情動表現解析	1,400,000	420,000
	病態分子イメージングセンター	松村 伸治	准教授	$\mu$ および $\delta$ オピオイド受容体二量体のがん疼痛維持機構における役割の解明	1,600,000	480,000
	心療内科学講座	蓮尾 英明	講師	がん患者の不眠障害に対する完全在宅型心拍変動バイオフィードバックシステムの開発	1,200,000	360,000
	小児科学講座	石崎 優子	准教授	起立性調節障害児のデコンディショニングに対するトレーニングプログラムの開発	1,400,000	420,000
	内科学第二講座	岩崎 真佳	研究医員	食後代謝異常が造血幹細胞老化を誘導する際のヒストン脱メチル化酵素の役割	1,600,000	480,000
	内科学第二講座	藤井 健一	講師	深層学習による冠動脈粥腫自動診断システムの開発とその臨床応用に関する研究	1,900,000	570,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	人見 浩史	教授	iPS細胞由来内分泌細胞を用いた新規治療法開発	1,500,000	450,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 新規	iPS・幹細胞再生医学講座	藤岡 龍哉	准教授	急性骨髄性白血病に対するCAR-T療法の開発	1,400,000	420,000
	外科学講座	奥山 哲矢	博士 研究員	肝虚血再灌流障害に対するセンスオリゴヌクレオチドを用いた新規核酸医薬の開発研究	1,200,000	360,000
	外科学講座	松井 康輔	講 師	肝細胞癌に対するレンパチニブ内包スマートメッシュを用いた新規治療デバイスの開発	800,000	240,000
	外科学講座	山木 壮	助 教	腺癌細胞におけるadipophilinの発現とグルタミン代謝メカニズムの解明	1,200,000	360,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	白水 泰昌	講 師	ヒトiPS細胞由来肝幹細胞様細胞を用いた代謝異常性肝疾患の治療	800,000	240,000
	麻酔科学講座	上林 卓彦	教 授	脳死ラットにおける新規心不全治療薬による心筋保護効果の検討	1,100,000	330,000
	麻酔科学講座	中畑 克俊	講 師	妊娠高血圧と中枢神経性調節：機能的磁気共鳴イメージングを用いた脳機能的結合性解析	800,000	240,000
	外科学講座	中竹 利知	助 教	iNOSセンスオリゴヌクレオチドを中心とした敗血症治療に対する基盤構築	800,000	240,000
	麻酔科学講座	金沢 路子	助 教	病態解明と創薬を目標とした妊娠高血圧症候群患者の血小板中microRNA解析	1,400,000	420,000
	脳神経外科学講座	埜中 正博	教 授	プレジジョン・メディシンに向けた悪性脳腫瘍の治療パッケージの創製	1,900,000	570,000
	脳神経外科学講座	岩田 亮一	非常勤 講 師	遠隔転移の予防に向けた新規免疫調節因子の発現メカニズムの解明	2,100,000	630,000
	整形外科講座	足立 崇	講 師	次世代シーケンサーによる椎間板・椎体および脊椎インプラントに存在する細菌叢の探究	2,000,000	600,000
	小児科学講座	木全 貴久	講 師	乳幼児の反復性尿路感染症における腸内細菌層は正による新規予防法の確立	900,000	270,000
	腎泌尿器外科学講座	木下 秀文	教 授	Augmented Realityを利用した、追体験型手術教育法の開発と評価	1,700,000	510,000
	腎泌尿器外科学講座	齊藤 亮一	講 師	免疫微小環境リモデリングに着目した尿路上皮癌新規複合免疫療法の開発	1,300,000	390,000
	腎泌尿器外科学講座	谷口 久哲	講 師	ミトコンドリア代謝を指標とした、新規ヒト精子品質評価技術の確立と品質維持への試み	600,000	180,000
	産科学・婦人科学講座	岡田 英孝	教 授	内分泌・低酸素環境における子宮内膜分化機構の解明	900,000	270,000
	産科学・婦人科学講座	村田 絃未	講 師	子宮内膜免疫寛容の転写制御機構を解明する	1,200,000	360,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	濱田 聡子	講 師	スギ花粉症舌下免疫療法に対するCX3CR1を指標としたバイオマーカーの開発	1,100,000	330,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	杉田 侑己	助 教	胸腺移植を用いた細胞性免疫機能改変による老人性難聴予防とヒトへの応用	1,000,000	300,000
	形成外科学講座	松岡 祐貴	助 教	血管リモデリングマウスを用いた血管スパズムモデルの開発と新規スパズム抑制薬の検討	2,000,000	600,000
	麻酔科学講座	伊藤明日香	講 師	COVID-19における急激な病態悪化メカニズムの解明および予防ターゲットの提示	800,000	240,000
	神経内科学講座	薬師寺祐介	教 授	アルツハイマー病発症リスクを層別化する中年期脳微細血管障害スコアモデルの構築	1,200,000	360,000
	精神看護学領域	矢山 壮	講 師	看護師のメンタルヘルスケアのためのWRAP有用性の検証	1,000,000	300,000
	慢性疾患看護学領域	青木 早苗	准教授	遺伝リスクがある乳がん女性のセルフ・トランセンデンスを促進する外来看護指針の開発	600,000	180,000
	精神看護学領域	的場 圭	助 教	精神科病院の看護職員による入院患者への不適切ケア・虐待を防止するための指針の構築	900,000	270,000
	こども看護学領域	原 朱美	講 師	多職種で取り組むこどものセルフケアに着目した在宅支援モデルの構築	1,300,000	390,000
	母性看護学領域	岩國亜紀子	講 師	妊婦が非対称性骨盤の改善とつわりの軽減を目指すセルフケアへの支援：RCT効果検証	1,100,000	330,000
	母性看護学領域	安藤布紀子	准教授	特別支援学校に通う知的障がいの子と家族および教員への包括的性教育に関する研究	1,500,000	450,000
	母性看護学領域	酒井ひろ子	教 授	認知行動療法を基礎とした妊婦禁煙アプリの開発と長期的禁煙継続の評価	700,000	210,000
	地域看護学領域	中原 洋子	助 教	妊娠中から支援を必要とする母親のアセスメント指標の活用性の検討	1,000,000	300,000
	在宅看護学領域	高橋美沙子	助 教	認知症高齢者の住まい変更の移行期を支えるプログラム開発のための基礎的研究	1,300,000	390,000
理学療法学科	中野 治郎	教 授	腫瘍の形成抑制を狙った酸素濃度調節環境下での運動療法の開発	1,000,000	300,000	

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 新規	理学療法学科	脇田 正徳	助 教	2レーン式トレッドミルを用いた転倒予防練習の運動解析と治療アルゴリズムの開発	2,900,000	870,000
	小児科学講座	高屋 淳二	非常勤講師	コロナ禍による小児の貧困・体格・生活スタイルの変容	900,000	270,000
	外科学講座	小坂 久	講 師	癒着制御剤を内包したスマートシートによる術後癒着予防効果の検討	1,100,000	330,000
	理学療法学科	池添 冬芽	教 授	骨格筋変性の加齢変化の解明および筋変性予防に効果的なトレーニング法の開発	1,200,000	360,000
基盤研究(C) 継続	精神神経科学講座	織田 裕行	講 師	自殺企図男性のLOH症候群に関する検証	400,000	120,000
	国際看護学領域	畠中 香織	講 師	外国人ケア労働者を対象とした異文化間ケア教育プログラムの開発から協働文化の創生へ	500,000	150,000
	内科学第三講座	田原 智満	講 師	腸内細菌による大腸腫瘍初期病変の異なる分子サブタイプ誘導に関する検討	700,000	210,000
	心療内科学講座	福永 幹彦	教 授	光環境サイクルという視点からの、新たな心身症治療法の可能性	500,000	150,000
	心療内科学講座	山本 和美	研究員	乳がん患者へのマインドフルネスストレス低減法による介入効果の検討	800,000	240,000
	生理学講座	倉岡 康治	助 教	霊長類扁桃体における情動情報と社会的情報の統合・制御機序の解明	700,000	210,000
	神経機能部門	松尾 朋彦	研究員	恐怖情動時の生理応答変化を担う神経回路の解明	1,200,000	360,000
	形成外科学講座	益岡 弘	講 師	口輪筋と顔面表情筋群の複合的メカニズムの解明と正常な表情獲得のための基盤の検討	1,000,000	300,000
	解剖学講座	田中 進	准教授	単一細胞解析による覚醒制御機構の解明	900,000	270,000
	解剖学講座	和田 幸恵 (平原幸恵)	講 師	シュワン細胞の発生・成熟における硫酸化糖脂質の生理的意義の解明	1,200,000	360,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	服部 文幸	教 授	心筋細胞の発生学的成熟化スイッチの解明と、ヒトiPS細胞由来心筋細胞への応用	700,000	210,000
	医化学講座	井上 明俊	助 教	慢性掻痒の創薬、がんの抗体医薬開発に向けた中枢痒み受容体の構造基盤解明	900,000	270,000
	薬理学講座	三木 貴雄	講 師	がんと概日リズムの関連から同定した新規がん制御機構の解析	1,200,000	360,000
	医化学講座	西田 和彦	助 教	内臓痛の伝達に関与する脊髄内神経回路とその構築を制御する分子基盤の解明	900,000	270,000
	医化学講座	片野 泰代	准教授	BEGAINによって調節される慢性疼痛特異的な脊髄内伝達回路の解明と創薬への試み	1,000,000	300,000
	内科学第一講座	野村 昌作	教 授	サイトカイン遺伝子の一塩基多型解析とEVを用いた難治性ITPの早期診断法の開発	600,000	180,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	小林 良樹	講 師	好酸球ペルオキシダーゼ抗体の存在から難治性好酸球性気道炎症の新たな治療戦略を探る	1,200,000	360,000
	精神神経科学講座	奥川 学	非常勤講師	麻酔-ECT時間がけいれん発作の質および臨床の有効性・忍容性に及ぼす影響について	700,000	210,000
	作業療法学科	吉村 匡史	教 授	レビー小体型認知症とアルツハイマー型認知症に対する経頭蓋直流電気刺激(tDCS)	800,000	240,000
	小児科学講座	辻 章志	准教授	腸管免疫に影響を与える腸内細菌叢に着目した微小変化型ネフローゼ症候群の病因解明	1,300,000	390,000
	内科学第三講座	長沼 誠	教 授	治療最適化を目指した潰瘍性大腸炎患者の腸内細菌・口腔内細菌叢の解析	700,000	210,000
	病理学講座	松浦 徹	講 師	大腸がん組織内での概日周期多様性とその治療への応用	1,000,000	300,000
	内科学第一講座	佐竹 敦志	講 師	セマフォリン4Aが移植後免疫応答に及ぼす影響の解明と新規急性GVHD制御法の開発	1,100,000	330,000
	心臓血管外科学講座	岡田 隆之	講 師	網羅的遺伝子解析による大動脈疾患へのプレジジョンメディスンの創出	600,000	180,000
	侵襲反応制御部門	松尾 禎之	講 師	自然免疫細胞の代謝プログラミング解析を主軸とした周術期炎症応答の分子機序の探求	700,000	210,000
	麻酔科学講座	竹下 淳	研究医員	敗血症病態における血小板数減少と細胞死のmicroRNA網羅的解析による機序解明	200,000	60,000
	麻酔科学講座	影山 京子	研究医員	血小板と白血球の相互作用による敗血症増悪病態におけるmicroRNAの役割の解明	200,000	60,000
腎泌尿器外科学講座	松田 公志	教 授	Augmented realityを利用した追体験型内視鏡手術教育システムの開発	400,000	120,000	
産科学・婦人科学講座	中尾 朋子	講 師	酸素・エネルギー代謝解析によるHIF-1を機軸とした子宮内膜炎症応答の解明	700,000	210,000	



研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	神田 晃	准教授	好酸性気道炎症における選択的アセチルコリン受容体の機序解明と新しい治療薬の開発	1,300,000	390,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	岩井 大	教授	トリンパ球分画接種による老人性難聴の予防法および予防機序の解明	1,300,000	390,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	庄野 朱美	研究員	咽喉頭粘膜上皮における新規成体幹細胞の探索と細胞の多様性の解明	1,400,000	420,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	中塚 隆介	助教	ヒトiPS細胞からの生理機能を有した副甲状腺細胞分化誘導同法の開発と機能評価	1,200,000	360,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	兒島 由佳	准教授	薬剤関連顎骨壊死の発症原因解明と発症予防法確立に向けた多施設共同前向き研究	1,100,000	330,000
	心療内科学講座	阿部 哲也	准教授	医療面接における共感場面の社会的・生理的特徴からの客観的解明	900,000	270,000
	精神看護学領域	三木 明子	教授	訪問看護師・介護員における暴力への対応力向上のためのトレーニングプログラムの開発	1,400,000	420,000
	クリティカルケア看護学領域	林 優子	教授	急性・重症患者看護専門看護師の倫理的実践知の体系化・倫理的実践の質向上に向けて	1,500,000	450,000
	母性看護学領域	川崎 有紀	助教	妊娠糖尿病と診断された女性の産後糖尿病発症予防に向けてのプログラム構築	1,000,000	300,000
	在宅看護学領域	李 錦純	准教授	多文化共生社会の高齢化に対応した在宅ケアグローバル人材養成教育プログラムの開発	900,000	270,000
	地域看護学領域	海原 律子	助教	社会的孤立の状態にある高齢者の理解と孤立した生き方を尊重した支援の検討	400,000	120,000
	在宅看護学領域	武 ユカリ	講師	訪問看護における暴力防止のためのe-learningによる教育プログラム開発	500,000	150,000
	衛生・公衆衛生学講座	三宅 眞理	講師	ICTを用いたフレイルとMCI予防プログラムの開発	200,000	60,000
	数学教室	北脇 知己	教授	自転車ペダリング動作スキルの計測デバイス開発と評価指標の確立	400,000	120,000
	ゲノム編集部門	徳弘 圭造	准教授	亜鉛シグナルによる精子受精能制御機構の解明	1,100,000	330,000
	解剖学講座	林 真一	講師	脊髄再生における二胚葉性幹細胞の出現と役割の解析	1,100,000	330,000
	生理学講座	上田 康雅	講師	ストレスによる行動変容に対するドーパミンとセロトニンの役割を明らかにする研究	700,000	210,000
	細胞機能部門	武藤 恵	講師	代謝型グルタミン酸受容体サブタイプ1の幼弱海馬特異的新機能の解明	1,200,000	360,000
	ゲノム解析部門	三澤 計治	講師	ながはまコホートおよび佐渡コホートのゲノム情報解析による、尿酸値関連変異の探索	1,100,000	330,000
	分子遺伝学部門	近藤 直幸	助教	病原性小胞の抑制を目指したインテグリン含有小胞の制御機序の解明	1,100,000	330,000
	分子遺伝学部門	植田 祥啓	講師	動態制御シグナルRap1によるNKT細胞の産生の時空間的制御	1,100,000	330,000
	生体情報部門	松田 達志	准教授	小胞輸送制御因子Arfを介した免疫調節機構の解明	1,000,000	300,000
	腎泌尿器外科学講座	吉田 崇	助教	浸潤性膀胱癌における新規治療ターゲットとしての一次繊毛	800,000	240,000
	分子遺伝学部門	池田 幸樹	助教	Talin1によるインテグリン活性化を介した神経膠(芽)腫悪性化メカニズムの解明	1,100,000	330,000
	神経機能部門	林 勇一郎	博士研究員	固定化した記憶を保持する前頭前皮質の神経活動ダイナミクス	800,000	240,000
	物理学教室	栗川 知己	助教	神経発火パターンがつくる軌道構造による領野間通信機序の解明	1,000,000	300,000
	薬理学講座	平井 希俊	講師	心筋再生医療にむけたErbB受容体シグナル経路の解明	1,400,000	420,000
	内科学第二講座	塚口 裕康	講師	核膜構造・機能からみるヒト遺伝性疾患の解明	1,300,000	390,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	松岡 由和	助教	ヒト造血管細胞におけるCD34抗原の発現意義の解明	800,000	240,000
	呼吸器外科学講座	谷口 洋平	講師	胸腺癌特異マーカーPRAMEの生物学的意義の解明と新規治療戦略への展開	1,200,000	360,000
	呼吸器外科学講座	齊藤 朋人	講師	肺癌invasive frontの空間的病理解析による浸潤/免疫抑制機構の解明	1,700,000	510,000
	侵襲反応制御部門	西 憲一郎	研究員	HIF-1活性解析を基軸としたタバコ誘導性肺バリア機能低下機構の分子生物学的探究	1,000,000	300,000
麻酔科学講座	中嶋 康文	教授	敗血症病態時の好中球細胞外トラップ産生能とmicroRNAによる制御の解明	1,300,000	390,000	

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	麻酔科学講座	萩平 哲	教授	麻酔中の脳波による鎮痛モニタリング法の開発	700,000	210,000
	救急医学講座	室谷 卓	講師	敗血症における赤血球表面上の補体沈着と侵襲度の評価	1,000,000	300,000
	救急医学講座	鎌方 安行	教授	腸管循環系からみた敗血症ショックの新しい循環管理法の開発に関する研究	1,000,000	300,000
	細胞機能部門	林 美樹夫	講師	ムコリピンを標的としたがん根治・予防を可能とする治療薬の創出	600,000	180,000
	脳神経外科学講座	吉村 晋一	准教授	内向き整流Kチャネルを基軸としたグリオーマ浸潤メカニズムの解明	700,000	210,000
	整形外科科学講座	申田 剛俊	非常勤講師	超小型シークエンサーを用いた周術期感染症のオンサイト迅速モニタリング技術の開発	900,000	270,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	日高 浩史	准教授	降下性縦隔炎の治療法構築と地域包括医療計画への提言：医療ビッグデータを用いた解析	800,000	240,000
	内科学第一講座	玉置 岳史	講師	進行期肺癌に対する癌化学療法への医療経済的なアプローチによる解析	300,000	90,000
	法医学講座	橋谷田真樹	准教授	DNAメチル化を中心とした心臓突然死診断への多角的アプローチ	1,000,000	300,000
	看護学教育領域	太田 祐子	准教授	対話的リフレクションを契機としたキャリア中期看護職の成長に関する研究	1,100,000	330,000
	基礎看護学領域	藤本 悦子	教授	看護教育における解剖生理学の再構築とその教育指針の作成	400,000	120,000
	慢性疾患看護学領域	村内 千代	助教	50歳未満成人2型糖尿病患者の治療中断リスク評価ツールの開発	300,000	90,000
	慢性疾患看護学領域	大原 千園	講師	パーキンソン病患者の身体性を意識した看護支援指針の開発と検証	300,000	90,000
	慢性疾患看護学領域	瀬戸奈津子	教授	高齢慢性疾患患者を対象とした外来看護包括的アセスメントツールの開発	500,000	150,000
	在宅看護学領域	山本 大祐	助教	中山間地域で継ぎ目の無い看取り支援を可能にする訪問看護師育成モデルの開発	1,100,000	330,000
	理学療法学科	福元 喜啓	准教授	骨格筋超音波画像の周波数解析による新しい筋内脂肪指標の開発	400,000	120,000
	外科学講座	里井 壯平	教授	機能性食品(AHCC)による膀胱癌治療成績改善を検証する二重盲検無作為化比較試験	300,000	90,000
	慢性疾患看護学領域	橋本理恵子	講師	治療を受ける若年成人がん患者の心理的適応を促進する看護ケアプログラムの開発	800,000	240,000
	理学療法学科	浅井 剛	准教授	高齢者を対象とした、シナジー理論に基づく新しい歩行リハビリテーション法の開発	600,000	180,000
	理学療法学科	佐藤 春彦	教授	生体信号と生活場面のセンシングで超重症児の気持をくみ取る認識・識別システムの構築	600,000	180,000
外科学講座	山崎 誠	准教授	高齢食道癌患者に対する術前化学療法施工中の運動・栄養介入の有用性試験	1,100,000	330,000	
産科学・婦人科学講座	森川 守	教授	HELLP症候群における補体活性化と血管新生関連因子についての研究	900,000	270,000	
微生物学講座	大隈 和	教授	HTLV-1ハイリスクキャリアの発症予防・治療薬創製とサル感染モデルを用いた評価	1,000,000	300,000	
若手研究 新規	生体情報部門	住吉 麻実	助教	Arf経路を介したT細胞生存維持機構の解明	1,700,000	510,000
	放射線科学講座	河野由美子	講師	悪性腫瘍に対する新たな放射線塞栓療法の開発	1,000,000	300,000
	精神神経科学講座	池田俊一郎	講師	症状評価と客観的指標を用いた摂食障害に対する反復経頭蓋磁気刺激療法の有効性の検証	800,000	240,000
	小児科学講座	赤川 翔平	講師	川崎病の罹患因子としての腸内細菌叢の役割の検討	1,000,000	300,000
	分子遺伝学部門	堀谷 俊介	研究員	Rap1不活化制御による制御性T細胞の動態調節とその破綻による腸炎病態への影響	1,200,000	360,000
	麻酔科学講座	角 千里	研究医員	IFNβ-1aシグナルと低酸素応答系のクロストークによる肺血管内皮バリア機能制御	2,500,000	750,000
	地域看護学領域	森田 理江	助教	コロナ禍におけるテレワーク労働者に対する新たな健康管理の手法に関する検討	1,400,000	420,000
	理学療法学科	森 公彦	助教	半側空間無視患者における主観的垂直感覚の視空間認知過程の解明	1,400,000	420,000
若手研究 継続	放射線科学講座	姉帯 優介	助教	放射線治療計画の品質を高める包括的研究	600,000	180,000
	放射線科学講座	小野 泰之	助教	カテーテルにコーティングされたPMEAのバイオフィルム形成抑制効果の証明	900,000	270,000
	病理学講座	大江 知里	講師	高悪性度腎細胞癌の治療薬シーズの探索	200,000	60,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
若手研究 継続	精神神経科学講座	砂田 尚孝	非常勤講師	薬効ゲノム情報に基づくレビー小体型認知症治療戦略の策定	1,100,000	330,000
	小児科学講座	山内 壮作	講師	強力に複数の炎症性サイトカインを抑制する新薬・DHMEQのSLEに対する治療開発	1,300,000	390,000
	内科学第三講座	山口 隆志	講師	非アルコール性脂肪性肝炎の線維化進行と肝発癌を予測する新規バイオマーカーの開発	400,000	120,000
	内科学第三講座	田中 敏宏	講師	自己免疫性膝炎の発症病態や制御機構に関わるIL-35の働き	900,000	270,000
	内科学第一講座	吉村 英晃	助教	レナリドミドの移植片対宿主病に及ぼす影響の解明—制御性T細胞を中心として—	700,000	210,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	尹 泰貴	助教	活性化組織好酸球に発現するCD69の機能的役割の解明	1,100,000	330,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	下野真紗美	助教	好酸球性気道炎症におけるMIP1-βの役割と病勢マーカーとしての応用	1,000,000	300,000
	眼科学講座	盛 秀嗣	助教	弾性線維欠損マウス及び網膜光凝固術を用いたポリープ状脈絡膜血管症モデルの作成	1,000,000	300,000
	眼科学講座	嶋 千絵子	講師	眼内虚血時における病的血管新生を防ぎつつ、生理的血管新生を誘導する方法を検討する	900,000	270,000
	医学教育センター	唐牛 祐輔	助教	医学生の長期的学修を支えるGritの役割—統合的学修過程モデルの構築	800,000	240,000
	基礎看護学領域	藤原 史博	講師	組織からの退出を控えたエキスパート看護師の世代継承性の内容と構造	1,000,000	300,000
	クリティカルケア看護学領域	谷水 名美	講師	肝移植レシピエントのWell-Beingを目指す継続的看護実践モデル開発	500,000	150,000
	慢性疾患看護学領域	藤本 悠	助教	離島へき地における保健師確保に関する現状と課題	700,000	210,000
	老年看護学領域	金原 京子	講師	有料老人ホームでの看取りに向けた事前意思確認のあり方と看護の役割に関する研究	500,000	150,000
	健康科学教室	黒瀬 聖司	講師	筋-脂肪組織ネットワークによる骨格筋制御の特性を考慮した運動プログラムの開発	600,000	180,000
	解剖学講座	小池 太郎	助教	新規一次感覚ニューロンの生理的・病理的役割の解明	800,000	240,000
	腎泌尿器外科学講座	大杉 治之	助教	淡明細胞型腎細胞癌の個別化医療を目的としたバイオマーカーの同定	1,000,000	300,000
	放射線科学講座	上野 裕	助教	大量ナノバブル存在下で増強したキャビテーションによる経皮吸収促進の評価	800,000	240,000
	放射線科学講座	小池 優平	助教	深層学習による患者個別線量分布推定に基づいた自動放射線治療計画システムの構築	700,000	210,000
	内科学第三講座	福原貴太郎	助教	ヒト化マウスを用いた炎症性腸疾患モデルの開発と接着分子阻害による治療法の開発	700,000	210,000
	内科学第三講座	富山 尚	講師	酸素ホメオスターシス制御を切り口とした麻酔に伴う免疫応答変容の分子基盤解明	1,100,000	330,000
	内科学第二講座	澁谷 裕樹	研究医員	光干渉断層画像による新生内膜内動脈硬化巣に対する画像診断法の構築と発生機序の解明	0	0
	皮膚科学講座	岸本 泉	助教	病変局所へ浸潤する好塩基球に注目した特発性蕁麻疹の病態検討	1,100,000	330,000
	外科学講座	小林 壽範	助教	超小型シークエンサーを用いた外科周術期管理におけるオンサイト迅速細菌同定法の確立	1,000,000	300,000
	麻酔科学講座	大平早也佳	研究医員	敗血症時の免疫抑制病態と骨髄由来抑制細胞由来microRNAによる抑制機構の役割	1,200,000	360,000
	侵襲反応制御部門	岡本 明久	研究員	麻酔薬の標的細胞小器官としてのミトコンドリアと細胞内エネルギー代謝関連の探究	1,000,000	300,000
	救急医学講座	中村 文子	助教	救急現場オンサイトでの迅速感染症診断を可能にする超小型シークエンシスシステムの確立	900,000	270,000
	脳神経外科学講座	李 一	研究医員	ストレスによる行動変容に対するドーパミンとセロトニンの役割を明らかにする研究	1,000,000	300,000
	整形外科科学講座	外山 雄康	助教	NGSと新規迅速PCRによる骨軟部組織感染症速診断法の研究	200,000	60,000
	整形外科科学講座	植田 成実	助教	次世代シーケンサーと遺伝子解析装置によるバイオフィーム内細菌・薬剤耐性菌検出法	500,000	150,000
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	酒井 遥	助教	甲状腺癌に対する分子標的薬併用内/外放射線治療法の開発	1,100,000	330,000	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	福井 研太	助教	甲状腺癌に対するAt-211を用いた標的RI治療と分子標的薬の併用療法の確立	1,100,000	330,000	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	河内 理咲	助教	鼻腔産生一酸化窒素から睡眠時無呼吸症の病態を探る	1,200,000	360,000	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	清水 皆貴	助教	好酸球性副鼻腔炎の克服を目指した新規融合タンパク質の鼻腔組織への有効性	1,000,000	300,000	



研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
若手研究 継続	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	阪本 大樹	助 教	活性化2型自然リンパ球に発現するCD69の分子機能的役割の解明	1,000,000	300,000
	眼科学講座	大庭 慎平	助 教	網膜静脈閉塞症における側副血路形成予測方法の開発	900,000	270,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	坂本 由紀	助 教	閉塞性睡眠時無呼吸に対するOA治療評価のバイオマーカーの有用性	1,300,000	390,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	澤田 俊輔	講 師	ヒトiPS細胞を用いた唾液腺組織の再構築と移植による唾液腺機能回復	1,000,000	300,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	切東 真子	助 教	薬剤関連顎壊死の発症原因解明と発症予防法確立に向けた多施設共同前向き研究	800,000	240,000
	法医学講座	眞鍋 翔	助 教	DNA鑑定実務に資する人工知能によるアーチファクト自動判定ツールの開発	1,200,000	360,000
	クリティカル看護学領域	小林 寛子	助 教	在宅療養移行を実現する悪性脳腫瘍患者の外泊看護支援プログラムの作成	500,000	150,000
	看護学教育領域	上山千恵子	助 教	精神科入院患者自殺発症後の看護師への支援と院内教育モデル構築のための基礎的研究	300,000	90,000
	国際看護学領域	山本 容子	助 教	胸腺癌特異マーカーPRAMEの生物学的意義の解明と新規治療戦略への展開	1,100,000	330,000
	こども看護学領域	西川 菜央	助 教	PICUに入室しているこどものセルフケア能力の変化に着目した看護支援モデルの開発	600,000	180,000
	精神看護学領域	川崎絵里香	助 教	精神疾患患者へのICTを用いたセルフマネジメント支援・支援方法と有効性の検討	1,900,000	570,000
	リハビリテーション医学講座	田口 周	助 教	Mixed Reality技術を応用した新たな3次元的認知機能課題の開発	900,000	270,000
	理学療法学科	砂川 耕作	助 教	MCIの視空間認知特性に着目した電子機器操作の介入モデルの開発	1,200,000	360,000
	新医学研究所設置準備室	鈴木 基史	助 教	PETイメージングによる放射線免疫併用療法の最適化	1,100,000	330,000
挑戦的研究 (萌芽) 継続	生理学講座	中村 加枝	教 授	霊長類セロトニン系の光操作による心と体の相互関係のメカニズムの解明	1,800,000	540,000
	生理学講座	宮内 哲	非常勤講師	なぜ全盲の人が障害物を避けて歩けるのか?-膝状体外路系機能の解明-	800,000	240,000
	リハビリテーション医学講座	長谷 公隆	教 授	介護保険診療における治療戦略AIの開発	1,000,000	300,000
挑戦的研究 (開拓)新規	神経機能部門	小早川 高	准教授	人工冬眠誘発臭の動作原理と技術応用	7,000,000	2,100,000
研究活動 スタート支援 継続	iPS・幹細胞再生医学講座	山下 裕美	助 教	ヒトiPS細胞由来肝細胞のフルクトース代謝経路を利用した精製法の開発	1,100,000	330,000
	がんセンター	朴 将源	助 教	グルタミン代謝がアスピリンの抗腫瘍効果に及ぼす影響	1,100,000	330,000

(単位：円)

### 令和2年度科学研究費助成事業交付決定(追加：他大学からの転入の代表者等)一覽(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付決定額		
					直接経費	間接経費	合計
基盤研究(B)	新医学研究所設置準備室	花岡 宏史	教 授	体内動態を制御したAt-211標識アミノ酸による汎用的 $\alpha$ 線治療法の創出	3,900,000	1,170,000	5,070,000
基盤研究(C)	内科学第三講座	長沼 誠	教 授	治療最適化を目指した潰瘍性大腸炎患者の腸内細菌・口腔内細菌叢の解析	1,500,000	450,000	1,950,000
	理学療法学科	中野 治郎	教 授	がん性疼痛に対する経皮的電気刺激のエビデンス構築と新適用法開発を目指す多施設研究	600,000	180,000	780,000
若手研究	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	坂本 由紀	助 教	閉塞性睡眠時無呼吸に対するOA治療評価のバイオマーカーの有用性	1,700,000	510,000	2,210,000
	法医学講座	眞鍋 翔	助 教	DNA鑑定実務に資する人工知能によるアーチファクト自動判定ツールの開発	1,300,000	390,000	1,690,000
挑戦的研究(萌芽)	リハビリテーション医学講座	長谷 公隆	教 授	介護保険診療における治療戦略AIの開発	3,200,000	960,000	4,160,000
	生理学講座	宮内 哲	非常勤講師	なぜ全盲の人が障害物を避けて歩けるのか?-膝状体外路系機能の解明-	800,000	240,000	1,040,000
研究活動 スタート支援	iPS・幹細胞再生医学講座	山下 裕美	助 教	ヒトiPS細胞由来肝細胞のフルクトース代謝経路を利用した精製法の開発	1,100,000	330,000	1,430,000
	がんセンター	朴 将源	助 教	グルタミン代謝がアスピリンの抗腫瘍効果に及ぼす影響	1,100,000	330,000	1,430,000
決定額(追加分)合計					15,200,000	4,560,000	19,760,000

(単位：円)

厚生労働省関係

令和3年度厚生労働行政推進調査事業費補助金交付内定者(追加:代表者)一覧

研究事業名	研究代表者			研究課題	直接経費	間接経費	合計
政策科学総合研究事業	法医学講座	橋谷田真樹	准教授	戦没者遺骨の身元特定に係るDNA鑑定の精度向上に関する研究	21,888,000	6,528,000	28,416,000
合 計					21,888,000	6,528,000	28,416,000

(単位:円)

令和2年度厚生労働科学研究補助金(分担者)一覧(事務委任分)

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
難治性疾患政策研究事業	香里病院	岡崎 和一	病院長	IgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	九州大学 大学院歯学研究院 教授 中村 誠司	500,000
	香里病院	岡崎 和一	病院長	難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	学校法人杏林学園 杏林大学 医学部消化器内科学 教授 久松 理一	350,000
	眼科学講座	高橋 寛二	教 授	網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査	鹿児島大学 医歯学域医学系 教授 坂本 泰二	0
	外科学講座	濱田 吉則	名誉教授	小児期・移行期を含む包括的対応を要する希少難治性肝胆膵疾患の調査研究	東北大学 大学院医学系研究科 教授 仁尾 正記	150,000
	脳神経外科学講座	埜中 正博	診療教授	神経変性疾患領域の基盤的調査研究	独立行政法人国立病院機構 松江医療センター 名誉院長 中島 健二	750,000
	微生物学講座	竹之内徳博	准教授	HAMならびに類縁疾患の患者レジストリを介した診療連携モデルの構築によるガイドラインの活用促進と医療水準の均てん化に関する研究	聖マリアンナ医科大学 医学部 教授 山野 嘉久	300,000
がん対策推進総合研究事業	外科学講座	海堀 昌樹	診療教授	患者・家族の意思決定能力に応じた適切な意思決定支援の実践に資する簡便で効果的な支援プログラムの開発に関する研究	国立研究開発法人国立がん研究センター 先端医療開発センター 精神腫瘍学開発分野 分野長 小川 朝生	400,000
	外科学講座	海堀 昌樹	診療教授	高齢者がん診療指針策定に必要な基盤整備に関する研究	福岡大学 医学部 研究特任教授 田村 和夫	0
障害者政策総合研究事業	精神神経科学講座	加藤 正樹	准教授	向精神薬の適切な継続・減量・中止等の精神科薬物療法の出口戦略の実践に資する研究	国立大学法人秋田大学 大学院医学系研究科医学専攻 病態制御医学系 精神科学講座 教授 三島 和夫	534,000
成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業)	小児科学講座	石崎 優子	准教授	身体的・精神的・社会的(biopsychosocial)に健やかな子どもの発育を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究	埼玉県立小児医療センター 病院長 岡 明	1,000,000
合 計						3,984,000

(単位:円)

令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(分担者)一覧(事務委任分)

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業)	地域看護学領域	上野 昌江	教 授	都道府県や県型保健所による子育て世代包括支援センターの機能強化支援のための研究	公益社団法人 母子保健推進会議 会長 佐藤 拓代	500,000
合 計						500,000

(単位:円)

## 令和2年度厚生労働省その他補助金(分担者)一覧

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業	心療内科学講座	水野 泰之	診療講師	慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業	国立大学法人滋賀医科大学 医学部附属病院 ペインクリニック科 講師 福井 聖	1,000,000
合 計						1,000,000

(単位：円)

### その他公的研究費

## 令和2年度日本医療研究開発機構(AMED)、科学技術振興機構(JST)等委託費等採択一覧

所管組織等	事業名等	講座	氏名	職位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、研究分担者、 共同研究者等	直接経費	間接経費	合 計
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的先端研究開発支援事業ユニットタイプ(AMED-CREST)	医化学講座	小林 拓也	教授	プロスタグランジン受容体の立体構造を基盤とした創薬開発を目指す革新的技術の創出	研究代表者	-	19,582,680	5,874,804	25,457,484
日本医療研究開発機構(AMED)	創薬基盤推進研究事業	医化学講座	小林 拓也	教授	最新の構造解析技術を活用したGPCR創薬のための技術基盤の構築	研究代表者	-	5,230,770	1,569,230	6,800,000
日本医療研究開発機構(AMED)	再生医療実現拠点ネットワークプログラム	iPS・幹細胞応用医学講座	六車 恵子	教授	ヒト多能性幹細胞を用いた小脳疾患に対する再生医療のための技術開発	研究代表者	-	10,000,000	3,000,000	13,000,000
日本医療研究開発機構(AMED)	難治性疾患実用化研究事業	内科学第三講座	長沼 誠	教授	エビデンスに基づいた難治性炎症性腸疾患に対する治療ポジショニングの構築	研究代表者	-	10,450,000	3,135,000	13,585,000
日本医療研究開発機構(AMED)	創薬支援推進事業・創薬総合支援事業(創薬プースター)	分子遺伝学部門	池田 幸樹	助教	インテグリン阻害による新規神経膠芽腫治療薬の探索	研究代表者	-	11,511,500	1,151,150	12,662,650
日本医療研究開発機構(AMED)	医療分野研究成果展開事業産学連携医療イノベーション創出プログラム基本スキーム(ACT-M)	内科学第一講座	伊藤 量基	准教授	自然免疫制御による全身性エリテマトーデス治療薬の創製	研究分担者	富山県立大学教授 長井 良憲	2,500,000	750,000	3,250,000
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学講座	井上健太郎	准教授	病理学的Stage II/IIIで“vulnerable”な80歳以上の高齢者胃癌に対する開始量を減量したS-1術後補助化学療法に関するランダム化比較第III相試験	研究分担者	岐阜大学教授 吉田 和弘	200,000	60,000	260,000
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学講座	井上健太郎	准教授	局所進行胃癌に対する術前化学療法の有効性を検証する臨床第III相試験	研究分担者	静岡がんセンター副院長 寺島 雅典	100,000	30,000	130,000
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学講座	海堀 昌樹	診療教授	革新的抗がんウイルス療法の実用化臨床研究	研究分担者	東京大学教授 藤堂 具紀	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療研究開発機構(AMED)	再生医療実用化研究事業	外科学講座	海堀 昌樹	診療教授	C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変患者に対するG-CSF動員自家末梢血CD34陽性細胞の経肝動脈投与に関する臨床研究	研究分担者	久留米大学教授 鳥村 拓司	2,565,800	769,740	3,335,540
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学講座	海堀 昌樹	診療教授	がん治療中のせん妄の発症予防を目指した多職種せん妄プログラムの開発	研究分担者	国立がん研究センター分野長 小川 朝生	800,000	240,000	1,040,000
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	形成外科学講座	覚道奈津子	准教授	先天性巨大色素性母斑を母地とした悪性黒色腫に対する予防的低侵襲治療方法の開発～高圧処理新規医療機器の研究開発	研究分担者	京都大学教授 森本 尚樹	500,000	150,000	650,000
日本医療研究開発機構(AMED)	長寿・障害総合研究事業障害者対策総合研究開発事業(精神障害分野)	精神神経科学講座	加藤 正樹	准教授	精神疾患レジストリの構築・統合により新たな診断・治療法を開発するための研究	研究分担者	国立精神・神経医療研究センター病院院長 中込 和幸	1,500,000	450,000	1,950,000
日本医療研究開発機構(AMED)	医療分野研究成果展開事業産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-MS)	腎泌尿器外科学講座	木下 秀文	准教授	ロボット支援手術における熟練技術習得型学習システム	研究分担者	大阪芸術大学教授 安藤 英由樹	500,000	150,000	650,000



所管組織等	事業名等	講座	氏名	職位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、研究分担者、 共同研究者等	直接経費	間接経費	合計
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	内科学第一講座	倉田 宝保	診療教授	高齢者非小細胞肺癌患者に対する抗がん薬のPK/PDに基づく個別化医療研究	研究分担者	国立がん研究センター 分野長 濱田 哲暢	500,000	150,000	650,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	内科学第一講座	倉田 宝保	診療教授	EGFR遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブまたはオシメルチニブ単剤療法とゲフィチニブまたはオシメルチニブにシスプラチン+パメトレキセドを途中挿入する治療とのランダム化比較試験	研究分担者	国立がん研究センター 副院長 呼吸器内科長 大江 裕一郎	300,000	90,000	390,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	内科学第一講座	倉田 宝保	診療教授	TCR多様性に基づく免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測関する研究	研究分担者	国立がん研究センター 医員 吉田 達哉	300,000	90,000	390,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	先端のバイオ創薬等基盤技術開発事業	医化学講座	小林 拓也	教授	拡張結晶スポンジ法によるタンパク質の革新的分子構造解析	研究分担者	京都大学 准教授 藤田 大士	5,100,000	1,530,000	6,630,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学講座	関本 貢嗣	教授	直腸癌局所再発に対する標準治療確立のための研究開発	研究分担者	国立がん研究センター 科長 伊藤 雅昭	400,000	120,000	520,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	臨床病理学講座	鳶 幸治	教授	未来のがん診療に資する革新的技術を導入したバイオマーカー測定の有用性を評価する大規模前向き観察研究	研究分担者	国立がん研究センター 医長 松本 慎吾	100,000	30,000	130,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	心療内科学講座	蓮尾 英明	助教	オピオイド不応の神経障害性疼痛に対するプレガバリンとデュロキセチンの国際共同ランダム化比較試験	研究分担者	国立がん研究センター 科長 松岡 弘道	314,980	94,494	409,474
日本医療研究開発機構 (AMED)	先進的医療機器・システム等技術開発事業基盤技術開発プロジェクト	リハビリテーション医学講座	長谷 公隆	教授	下肢装具から脱却するためのリハビリテーションを支援する歩行介入エンジンの研究開発	研究分担者	株式会社国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) 野田 智之	14,025,000	4,207,500	18,232,500
日本医療研究開発機構 (AMED)	難治性疾患実用化研究事業	ゲノム解析部門	日笠幸一郎	教授	希少難治性疾患克服のための「生きた難病レジストリ」の設計と構築	研究分担者	京都大学 教授 松田 文彦	700,000	210,000	910,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	認知症対策官民イノベーション実証基盤整備事業	精神神経科学講座	吉村 匡史	講師	安静時脳波により超早期認知症を検知・識別する人工知能の開発と検証	研究分担者	大阪大学 教授 池田 学	1,500,000	450,000	1,950,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	臨床研究・治験推進研究事業	内科学第一講座	佐竹 敦志	講師	急性骨髄性白血病に対する治療用がんペプチドワクチン「DSP-7888」のPhase2医師主導治験	研究分担者	大阪大学 助教 中田 潤	1,538,462	461,538	2,000,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	微生物学講座	藤澤 順一	教授	HTLV-1関連疾患の発症リスク、進展メカニズムに関するオミクス統合解析と発症予防に資する基盤的研究	研究分担者	東京大学 教授 内丸 薫	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学講座	木川雄一郎	助教	がん患者における患者報告アウトカム尺度開発に関する研究	研究分担者	神戸大学 特命准教授 清田 尚臣	550,000	165,000	715,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	臨床研究・治験推進研究事業	神経内科学講座	薬師寺祐介	教授	脳出血超急性期患者への遺伝子組換え活性型第VII因子投与の有効性と安全性を検証する研究者主導国際臨床試験	研究分担者	国立循環器病研究センター 副院長 豊田 一則	384,616	115,384	500,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	ウイルス等感染症対策技術開発事業	救急医学講座	中森 靖	診療教授	新型コロナウイルス肺炎に対する高性能新規ECMOシステムの有効性・安全性に関する臨床研究	研究分担者	国立循環器病研究センター 部長 福島 教偉	3,846,155	1,153,845	5,000,000
科学技術振興機構 (JST)	戦略的創造研究推進事業 (社会技術研究開発 (RISTEX))	心療内科学講座	阿部 哲也	准教授	運動機能障害者の就労・教育を支援するジュスチャイntagフェースの社会実装	研究分担者	京都大学 教授 中村 裕一	200,000	60,000	260,000
科学技術振興機構 (JST)	戦略的創造研究推進事業 (CREST)	実験病理学講座	上野 博夫	教授	多色蛍光コーティングと1細胞・insituイメージング法によるオミクスデータの検証	研究分担者	理化学研究所 ユニットリーダー 二階堂 愛	12,238,959	3,671,687	15,910,646
科学技術振興機構 (JST)	未来社会創造事業	心療内科学講座	蓮尾 英明	講師	QOL計測とハートフルネス実践による食体験共有システム	研究分担者	産業技術総合研究所サービス工学研究センター 主任研究員 依田 育士	1,773,000	531,900	2,304,900

所管組織等	事業名等	講 座	氏 名	職 位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、研究分担者、 共同研究者等	直接経費	間接経費	合 計
科学技術 振興機構 (JST)	研究成果展開事業センター・オ プ・イノベーション(COI)プロ グラムCOI拠点「人間力活性化に よるスーパー日本人の育成拠点 (令和2年4月1日以降・乳幼児 からの健やかな脳の育成による 積極的自立社会創生拠点)」	精神神経科学 講座	西田圭一郎 吉村 匡史	准教授	経頭蓋直流刺激(tDCS)による 活性化	研究分担者	中核機関・大阪大 学COI拠点	2,500,000	750,000	3,250,000
NICT	高度通信・放送研究開発 委託研究	リハビリ テーション 医学講座	長谷 公隆	教 授	脳機能補完による高齢者・障が い者の機能回復支援技術の研究 開発 副題：外骨格ロボットと脳機能ニ ューロフィードバックによる身体お よび認知・感覚運動機能のICT を活用したリハビリテーションシ ステムの開発	研究分担者	代表機関・株式会 社国際電気通信基 礎技術研究所 (ATR)	4,545,455	454,545	5,000,000
大阪大 (AMED補 助金)	医療研究課発進事業費 補助金「橋渡し研究戦略 的推進プログラム」	神経機能 部門	小早川 高	准教授	嗅覚創薬の精神疾患治療へ適 用(A132)	研究代表者	-	5,150,000	569,091	5,719,091
大阪大 (AMED補 助金)	医療研究課発進事業費 補助金「橋渡し研究戦略 的推進プログラム」	放射線科学 講座	中村 聡明	准教授	放射線画像データおよび医師所 見による骨関連事象事前予測 のためのAIシステムの開発 (A145)	研究代表者	-	1,000,000	130,000	1,130,000
岡山大 (AMED補 助金)	医療研究課発進事業費 補助金「橋渡し研究戦略 的推進プログラム」	衛生・公衆 衛生学講座	保坂 直樹	研究員	健康寿命の延伸を目指した次世 代医療橋渡し研究支援拠点 (A088)	研究代表者	-	1,500,000	0	1,500,000
九州大 (AMED補 助金)	医療研究課発進事業費 補助金「橋渡し研究戦略 的推進プログラム」	細胞機能 部門	林 美樹夫	講 師	ムコリピンを標的としたがん予防 薬の開発(A203)	研究代表者	-	3,200,000	0	3,200,000
京都大 (AMED補 助金)	医療研究課発進事業費 補助金「橋渡し研究戦略 的推進プログラム」	解剖学講座	田中 進	准教授	低異型度尿路上皮内腫瘍の診 断法の開発(シズ管理番号 (A170)	研究代表者	-	4,727,273	472,727	5,200,000
京都大 (AMED補 助金)	医療研究課発進事業費 補助金「橋渡し研究戦略 的推進プログラム」	呼吸器外科学 講座	谷口 洋平	助 教	癌特異的マーカーPRAMEの診 断・治療への応用	研究代表者	-	-	-	-
京都大 (AMED補 助金)	医療研究課発進事業費 補助金「橋渡し研究戦略 的推進プログラム」	iPS・幹細胞 再生医学講座	服部 文幸	研究教授	再生医療における委嘱細胞の 組織融合を支援する総合移植 システムの開発	研究代表者	-	1,818,182	181,818	2,000,000
東北大 (AMED補 助金)	医療研究課発進事業費 補助金「橋渡し研究戦略 的推進プログラム」	衛生・公衆 衛生学講座	神田 靖士	准教授	結核感染における尿中miRNA をマーカーとする診断キットの実 用化(A185)	研究代表者	-	3,833,333	383,333	4,216,666
東北大 (AMED補 助金)	医療研究課発進事業費 補助金「橋渡し研究戦略 的推進プログラム」	iPS・幹細胞 再生医学講座	松岡 由和	助 教	新規造血幹細胞マーカーを用い た造血幹細胞数測定キットの開 発(A182)	研究代表者	-	2,015,152	201,515	2,216,667
北海道大 (AMED補 助金)	医療研究課発進事業費 補助金「橋渡し研究戦略 的推進プログラム」	小児科学 講座	石崎 優子	准教授	起立性調節障害児の下腿筋力 を回復するトレーニング機器の 開発	研究代表者	-	1,871,560	168,440	2,040,000
国立循環器病 研究センター	国立循環器病研究センター 循環器病研究開発費	神経内科学 講座	薬師寺祐介	教 授	心房細動を伴う脳梗塞における 適切な直接経口抗凝固薬開始 時期の探求	研究分担者	国立循環器病研究 センター	1,000,000	0	1,000,000
国立精神・ 神経医療研 究センター	国立精神・神経医療研究 センター研究開発費	神経内科学 講座	近藤 誉之	診療教授	分担研究課題：CXCR5陽性T 細胞は重症筋無力症のバイオ マーカーや治療標的となりうるか	研究分担者	国立精神・神経医 療研究センター	500,000	0	500,000
国立がん研 究センター	国立がん研究センター 研究開発費	放射線科学 講座	谷川 昇	教 授	成人固形がんに対する標準治 療確立のための基盤研究	研究分担者	国立がん研究セン ター中央病院 副院長/呼吸器内科長 大江 裕一郎	-	-	-
国立がん研 究センター	国立がん研究センター 研究開発費	内科学第一 講座	吉岡 弘鎮	准教授	成人固形がんに対する標準治 療確立のための基盤研究	研究分担者	国立がん研究セン ター中央病院 副院長/呼吸器内科長 大江 裕一郎	-	-	-
合 計								144,872,877	34,372,741	179,245,618

(単位：円)

その他外部資金

令和2年度研究助成金等受贈者(採択)一覧

令和2年度に採択された各種助成財団による研究助成金を下記の研究者が受贈された。(大学を通じての申請分を掲載)

研究助成法人・団体等	受贈者	研究課題等	助成額等
公益財団法人武田科学振興財団 2020年度医学系研究助成	病理学講座 松浦 徹 講師	子宮オルガノイドを用いたマウス胚の着床及び発生の試験管内再現	2,000,000
公益財団法人メンタルヘルス岡本記念財団 令和2年度(2020年度)研究・活動助成	小児科学講座 柳本 嘉時 助教	不登校を伴う起立性調節障害児が抱える不安に対する入院加療の有用性の検討	300,000
公益信託日本動脈硬化予防研究基金 2020年度研究助成	内科学第二講座 澁谷 裕樹 研究医員	冠動脈組織診断における人工知能を用いた血管内画像解析技術の開発に関する研究	500,000
独立行政法人日本学術振興会 若手研究者海外挑戦プログラム	内科学第二講座 澁谷 裕樹 研究医員	冠動脈組織診断における人工知能を用いた血管内画像解析技術の開発に関する研究	1,400,000
公益財団法人テルモ生命科学振興財団 2020年度研究開発助成金 Ⅲ. 研究助成金再生医療研究	モデル動物部門 村山 正承 講師	軟骨再生医療への応用を目指した低分子化合物の開発	2,000,000
公益財団法人川野小児医学奨学財団 令和2年度新型コロナウイルス感染症に関する研究助成	iPS・幹細胞再生医学講座 服部 文幸 研究教授	ヒトiPS細胞を用いた小児SARS CoV-2感染モデルの構築および新規自然免疫補助療法の開発	1,000,000
公益財団法人中富健康科学振興財団 令和2年度(第33回)研究助成金	iPS・幹細胞再生医学講座 松岡 由和 助教	細胞融合を利用した造血細胞による骨格筋の若返りと再生法の開発	1,500,000
公益財団法人ニッポンハム食の未来財団 2021年度研究助成個人研究助成	小児科学講座 赤川 翔平 講師	小児の食物アレルギーと腸内細菌叢の関連	2,000,000
日本私立学校振興・共済事業団 2021年度女性研究者奨励金	神経内科学講座 村上 綾 助教	脳アミロイドアンギオパチーにおけるNRG1シグナルの解析	400,000
同志社大学赤ちゃん学研究センター 第6回計画共同研究	小児科学講座 石崎 優子 准教授	社会的養護を要する赤ちゃんの家庭を支える小児科医による里親・養親家庭支援ネットワークの構築に関する研究	400,000
公益財団法人医学教育振興財団 医学教育研究助成(令和3年度)	医学教育センター 林 幹雄 助教	医学部における原級留置生はどのような支援を必要としているか	300,000
公益財団法人大阪コミュニティ財団 2021年4月助成「がん研究助成」	病理学講座 吉川 勝広 大学院生	トリプルネガティブ乳癌の癌関連線維芽細胞におけるPD-L1発現の臨床病理学的意義の解明	1,000,000
公益財団法人喫煙科学研究財団 2021年度喫煙科学研究財団助成研究 一般研究	神経内科学講座 薬師寺 祐介 教授	健常人のアルツハイマー病発症リスクに対する脳小血管病負債と喫煙の相乗効果の検証: the Kashima scan	2,000,000
公益財団法人喫煙科学研究財団 2021年度喫煙科学研究財団助成研究 一般研究	産科学・婦人科学講座 岡田 英孝 教授	妊娠成立に向けたヒト卵巣機能に及ぼす喫煙の影響	2,000,000
公益財団法人喫煙科学研究財団 2021年度喫煙科学研究財団助成研究 若手研究	iPS・幹細胞再生医学講座 松岡 由和 助教	ダイオキシン類はヒト造血幹細胞に対する毒性を有するのか?	500,000

※退職された方の所属・職位は退職時のものになります。

(単位:円)



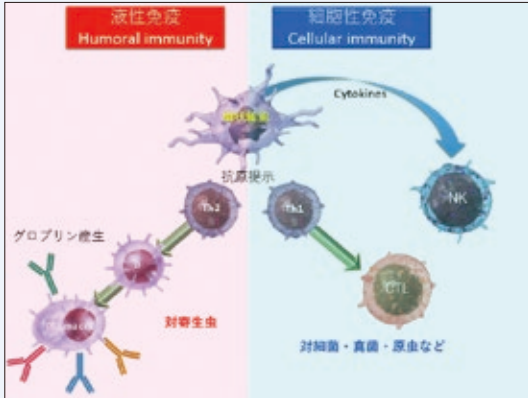
## 研究最前線

社会にもインパクトを与える大型研究。本学の研究者の活躍の一端をご紹介します。

### 免疫の司令官樹状細胞を ターゲットにした研究

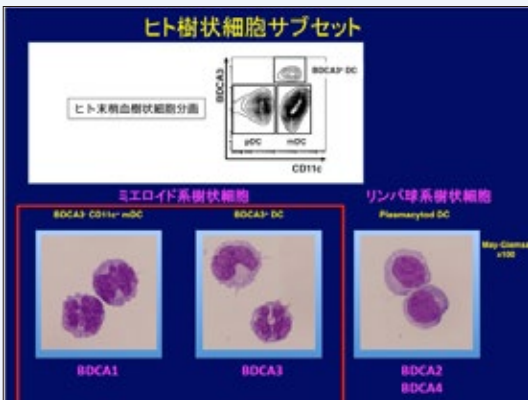
—臨床と研究のリンクをめざして—

内科学第一講座 伊藤 量基 准教授



#### 免疫システムのカスケード

樹状細胞が、ヘルパーT細胞に抗原提示を行い、Th1細胞へ分化を誘導するとその結果、CTL（細胞傷害性T細胞）を活性化。また、サイトカイン産生を介して、NK細胞も活性化し、細胞性免疫を構築する。一方、Th2細胞への分化誘導を惹起した場合は、B細胞を活性化し、形質細胞への分化誘導を促し、グロブリン産生などの液性免疫賦活を導く。



#### —先生の研究について教えてください。

ヒトの樹状細胞を研究してきました。免疫にかかわる細胞は多くありますが、その中でも樹状細胞は司令官とも言える細胞です(上図参照)。現在までに、ヒトの樹状細胞は様々な炎症性疾患の病態発症起点ならびにその進展に重要な役割を果たすことが判明してきていますが、1990年代当時は、ヒトにおけるDCの単離抽出の困難さからヒトにおける研究はほぼ皆無でした。大学院で所属していた研究室では、健康人の末梢血には、ミエロイド系DC2つの亜群とリンパ球系DCの計3つの亜群が存在することを明らかにし、これらを高純度に純化・単離する手法を初めて確立しました。それ以来、本学の第一



内科研究室ではこのヒト樹状細胞を用いた研究を中心に据えて、現在まで研究体制を推し進めています。このように、ヒトの樹状細胞サブセットを純化単離して研究に用いることが出来る施設は日本国内では稀です。

関西医大は、2018～2020年度私立大学研究ブランディング事業の対象校に選定されましたが、我々の研究は、最近ではこのブランディング事業において、「ヒト樹状細胞をターゲットにした、アレルギーおよび自己免疫疾患に対する新たな治療戦略の開発」として、参加いたしました。

#### —それぞれどのような研究なのでしょうか？

全身性エリテマトーデス(SLE)は、自己DNAという本来反応すべきではない自己成分に対する免疫反応に対する抑制破綻が生じ、全身の臓器に障害を来す自己免疫疾患です。移植拒絶反応やループス腎炎の治療に用いられるミコフェノール酸モフェチル(MMF)という薬剤が治療に有効であることはわかっていましたが、その理由は不明でした。我々の研究により、MMFを投与するとSLEの発症に関連するヒト樹状細胞サブセットが産生するI型IFN分泌を抑制すること、そのI型IFNの産生に必須である転写因子IRF7の核内移行とAKTの活性化を抑制すること、別の樹状細胞サブセットに対しては成熟発現と、IL-12の分泌を抑制すること、さらにTh1関連の転写因子STAT4のmRNA発現低下を誘導したことがわかりました。つまり、MMFがヒト樹状細胞サブセットをそれぞれ異なるメカニズムで抑制することによって、SLE病態の進展を制御していることを示しました。

また、免疫調節薬(IMiDs)であるレナリドミドとボマリドミドは、多発性骨髄腫の治療に広く使用されている薬剤ですが、その免疫学作用機序の一部は不明でした。この研究では、Th1/Th2免疫応答を制御するヒト樹状細胞を対象としてIMiDsの影響を検討し、その結果、Th2-関連アレルギー応答(液性免疫賦活能)を惹起し、それが治療において重要であることを同定しました。臨床的血中濃度のIMiDsは、ヒト樹状細胞の生存性および成熟に抑制はかけませんでした。このIMiDsは、Th-2誘導因子であるTSLPという物質で刺激すると、樹状細胞が産生するTh2ケモカインCCL17(アトピー性皮膚炎にお

けるバイオマーカー)と、そのマスターシグナルであるSTAT6/IRF4の発現を増加させ、その結果、メモリーTh2細胞におけるTh2応答を促進しました。すなわち、IMiDsは樹状細胞を介してTh2関連アレルギー応答を惹起することが判明しました。また、レナリドミドにより治療した骨髄腫患者の解析において、レナリドミドによる皮疹発症時の血清CCL17レベルは、有意に高くなり、さらに治療効果が良かった患者の血清CCL17レベルも同様に高くなりました。さらに、皮疹の出た患者では、皮疹の出なかった患者よりも治療効果が良いこともわかりました。この結果から、IMiDsの皮疹という副作用と、Th2免疫賦活能は、表裏一体の関係であり、IMiDsにより樹状細胞を介したTh2-関連アレルギー反応という免疫応答が惹起されるほど、治療効果は上がると考えられることを明らかにしました。

このように、様々な臨床的な現象において、不明だったポイントが、樹状細胞をターゲットに解析することによって解明することこそが、我々の研究のまさに意義であり、これら基礎デー

タを礎として、今後、創薬や新たな治療戦略に結びつけることを目的としています。

—後輩へのメッセージを

臨床に携わっているとどうしても臨床メインになりがちで、研究に時間を費やすことがなかなか出来ませんが、研究をすることで病態の理解や治療にも役立ちます。実際、研究を行っている、臨床と研究の両方をやっているとよかったと思うことがしばしばあります。臨床にはガイドラインがあり、これから外れないように治療を行います。研究をすることでその病態や治療の本質を考え、自分で治療法を適切にアレンジすることもできるのです。また、私は、研究のための研究をするのではなく、あくまでも臨床にフィードバックできる研究を心掛けています。幸い本学には研究できる環境、施設が整っていますので、やる気があればいつでも研究に取り組むことができます。臨床をしながらもバランスを取って、地道に研究を続けることをぜひとも頑張ってください。

■研究費などの採択歴  
科研費

- 免疫調節分子OX40リガンドを標的とした炎症性疾患治療への試み  
・研究代表者 ・研究期間(年度)2009-2011 ・研究種目 基盤研究(C)
- 線溶系物質による樹状細胞機能の制御:炎症性疾患に向けた新たな治療コンセプトの提案  
・研究代表者 ・研究期間(年度)2012-2014 ・研究種目 基盤研究(C)
- 骨髄腫最適化治療に向けたIMiDsと抗体医薬の免疫賦活機序の解明  
・研究代表者 ・研究期間(年度)2017-2019 ・研究種目 基盤研究(C)
- サイトカイン遺伝子の一塩基多型解析とEIVを用いた難治性ITPの早期診断法の開発  
・研究分担者 ・研究期間(年度)2019-2021 ・研究種目 基盤研究(C)
- 自然免疫受容体TLR7の活性阻害に基づく新規SLE治療薬の創出  
・研究分担者 ・研究期間(年度)2016-2017 ・研究種目 若手研究(B)
- グリオーマがん幹細胞におけるOX40シグナルの機能解析  
・研究分担者 ・研究期間(年度)2018-2020 ・研究種目 基盤研究(C)
- Tリンパ球由来マイクロパーティクルによる呼吸器関連アレルギー疾患の新規病態評価法  
・研究分担者 ・研究期間(年度)2015-2017 ・研究種目 基盤研究(C)
- グリオーマ癌幹細胞を標的とした樹状細胞療法に関する基礎研究  
・研究分担者 ・研究期間(年度)2015-2017 ・研究種目 基盤研究(C)
- 血管内皮細胞由来マイクロパーティクルによるDIC病態早期診断法の研究  
・研究分担者 ・研究期間(年度)2011-2013 ・研究種目 基盤研究(C)
- ◆文部科学省21世紀型革新的先端ライフサイエンス技術開発プロジェクト「BCGによるアレルギー予防治療技術の開発」(2003~2005)を理化学研究所との分担研究
- ◆私立大学研究基盤形成支援事業  
2009年-2011年  
「場の再生・修復技術の開発と難病治療への応用」  
分担研究名: ヒト樹状細胞によるさまざまな病態関連応答の解明と新たな難病治療戦略の開発
- ◆2011年-2015年  
「分子イメージングによる体系的病態の解明と診断治療法の開発」  
分担研究名: ヒト樹状細胞によるさまざまな病態関連応答の解明と新たな難病治療戦略の開発
- ◆2018年度文部科学省  
「私立大学研究ブランディング事業」『タイプB世界展開型』  
「難治性免疫・アレルギー疾患の最先端研究拠点大学としてのブランド形成」  
1内科担当医師として分担研究2018年-2020年
- ◆関西医大におけるコンソーシアム参画  
2015年-2017年がんコンソーシアム  
分担研究名: 内因性I型IFN促進を標的とした新たな癌治療の開発  
2016年-2017年KMUコンソーシアム  
「アレルギー性疾患に対する新しい治療戦略の開発:基礎と臨床によるクロストラ

ンスレーショナルリサーチの確立に向けた挑戦」

- 「アレルギー性疾患に対する新しい治療戦略の開発(ホップ計画):新規治療ターゲット(mTORC1やArf6)の開発に向けて臨床と基礎によるパイロットスタディーの構築」
- ◆AMED医療分野研究成果展開事業 産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-MS)「TLR7を標的にしたSLE治療薬の開発」  
分担研究者として参加  
分担研究課題: 健康人由来樹状細胞を用いたTLR7阻害剤の有効性評価  
2017-2019年

- AMED日本医療研究開発機構 医療分野研究成果展開事業  
産学連携医療イノベーション創出プログラム基本スキーム【ACT-M】  
「自然免疫制御による全身性エリテマトーデス治療薬の創製」  
委託研究開発者として参加  
2020-2023年

■特許出願

- 出願番号: 特願2020-115916(出願日2020/7/3)  
名称: 「活動的全身性エリテマトーデスの鑑別用バイオマーカー」  
出願人: 学校法人関西医科大学

■略歴

- 平成4年 関西医大卒業後、関西医科大学附属病院 内科入局
- 平成6年~8年 倉敷中央病院 血液内科
- 平成8年4月~12年3月 関西医科大学大学院医学研究科博士課程(内科系内科学1専攻)
- 平成12年~平成14年 日本学術振興会 特別研究員
- 平成15年1月~18年2月 MD Anderson Cancer Center, Department of Immunology, post-doctoral fellow
- 平成18年3月~ 関西医科大学 第一内科 助手
- 平成19年4月~ 関西医科大学 第一内科 講師
- 平成23年4月~ 関西医科大学 第一内科 准教授
- 同年4月~ 関西医科大学 附属滝井病院 血液呼吸器膠原病内科部長
- 平成24年7月~ 現、関西医科大学附属病院(元・附属枚方病院) 勤務
- 平成27年2月~ 同 病院教授

■所属学会・研究会(役職・資格等)

- 日本内科学会(認定医・総合専門医)
- 日本血液学会(代議員:専門医・指導医) MPN研究実行委員会委員
- 日本リウマチ学会(専門医)
- 日本造血細胞移植学会(移植認定医)
- 日本輸血・細胞治療学会(細胞治療認定管理師)
- 日本免疫学会(評議員)
- 日本サイトメトリー学会(理事 兼 事務局長)
- 米国血液学会



附属病院 アレルギーセンター・オンラインミニセミナー公開中

附属病院アレルギーセンターは5月から、公式Webサイト内に3分から5分程度の短時間でアレルギーに関する基礎知識を紹介する動画コンテンツ「オンラインミニセミナー」を公開しています。これまで第1回「アレルギー検査陽性!?これって食物アレルギー?」、第2回「長引く咳と喘息」、第3回「アレルギー性鼻炎の種類と症状」、第4回「蕁麻疹ってなに?」をテーマに公開しています。自宅から、通勤・通学中に、また、病院での診察待ち時間など、お気軽にご覧ください。



オンラインミニセミナー画面

受 賞

鈴鹿学長特任教授が「輝く耳鼻咽喉科女性賞」を受賞

5月13日(木)、鈴鹿有子学長特任教授が一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会の「輝く耳鼻咽喉科女性賞」を受賞しました。それに先立って1月27日(水)には同学会村上信五理事長が表彰のため来学し、枚方学舎医学部棟13階応接室において同賞の表彰状とクリスタルトロフィーを鈴鹿学長特任教授に手渡しました。



クリスタルトロフィーを手にする  
日本耳鼻咽喉科学会村上理事長(左)と、鈴鹿学長特任教授

看護学部瀬戸教授が令和3年度大阪府看護協会長表彰を受ける

看護学部瀬戸奈津子教授が令和3年度大阪府看護協会長表彰を受けました。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で規模が縮小され、例年通常総会で行われている授与式が中止となり、後日記念品とともに賞状を受け取りました。

\*瀬戸教授コメント\*

このたびの受賞は、平成24年度より4年間大阪府看護協会学会委員会委員長を務めた功績への最たる評価と理解しています。委員長拝命当時3つの学会を担当し、次年度に全国規模の「日本看護学会：看護管理」の開催を控える大変な状況でした。任期中に参加者が割れ演題数に伸び悩む「看護教育管理学会」と「大阪府看護研究学会」を統合し、様々な立場の多くの看護職による「世代を超えて看護を考える機会と場」のコンセプトにて「大阪府看護学会」として発足し、第3回まで企画・運営に携わることができました。本務を抱えながら学会準備に多くの時間と多大なる労力を費やしてくださった学会委員、ならびに抄録選考委員、大阪府看護協会職員の皆様に心より御礼申し上げます。







## 学会主催報告

令和3年4月～6月、本学が主催および事務局を務めた主な学会を紹介します。

### 第125回日本眼科学会総会

■会期 令和3年4月8～11日 ■場所 大阪国際会議場

テーマ：「知と実践」

本学会は明治30年に発会した日本眼科学会が主催して年に1度開催されるわが国で最も歴史と権威のある眼科領域の学会の総会です。今回、当教室としては24年ぶりに本学会2度目の主管を勤めさせていただきました。開催時期が新型コロナウイルス感染者の増加時期となりましたが、感染対策を十分に行った上で、本学会では初めての対面方式とWeb開催を併用したハイブリッド型開催を行いました。総参加者数は8,489名を数え、コロナ禍の中で学会としてはアンケートによる評価も上々でした。

【総会長：眼科学講座 高橋 寛二 教授】



## 学会賞等受賞情報

令和3年4月～6月の学会賞受賞者等を紹介します。

#### 2020年度日本アレルギー学会学術大会賞(第17回)

小児科学講座 赤川 翔平 講師

■テーマ Decreased butyric acid-producing bacteria in the gut microbiome of children with egg allergy (鶏卵アレルギー患児の腸内細菌叢における酪酸産生菌の減少)

■授与学会 第69回日本アレルギー学会学術大会(兼 JSA/WAO Joint Congress 2020)



#### 第15回日本膵臓学会国際優秀演題賞

外科学講座 橋本 大輔 診療講師

■テーマ Total pancreatectomy risk model for severe postoperative complications derived from 2,167 patients recorded in a nationwide clinical database

■授与学会 日本膵臓学会



#### 日本小児アレルギー学会2021 KAPARD-APAPARI Joint Congressトラベルグラント

小児科学講座 赤川 翔平 講師

■テーマ Decreased proportion of butyric acid-producing bacteria in the gut microbiota of children with severe motor and intellectual disabilities(重症心身障がい児の腸内細菌叢における酪酸産生菌の減少)

■授与学会 日本小児アレルギー学会

#### 2021 KAPARD-APAPARI Joint Congress Young Investigator Award

小児科学講座 赤川 翔平 講師

■テーマ Decreased proportion of butyric acid-producing bacteria in the gut microbiota of children with severe motor and intellectual disabilities(重症心身障がい児の腸内細菌叢における酪酸産生菌の減少)

■授与学会 2021 Korean Academy of Pediatric Allergy and Respiratory Disease and Asia Pacific Academy of Pediatric Allergy, Respiratory & Immunology Joint Congress(2021 KAPARD-APAPARI Joint Congress)

#### 2020年「がん研究助成奨励金」

内科学第三講座 中丸 洸 助教

■テーマ 膵癌における胆汁中に含有される細胞外小胞によるバイオマーカーの開発

■授与学会 公益財団法人大阪対がん協会



#### 2020年「がん研究助成奨励金」

腎泌尿器外科学講座 池田 純一 大学院生

■テーマ 尿路上皮癌における腫瘍微小環境の解明と新規バイオマーカーの探索

■授与学会 公益財団法人大阪対がん協会



#### 優秀演題賞

関西医科大学香里病院、関西医科大学大学院医学研究科 久保田 良 理学療法士

■テーマ ステッパーロボットを用いた前足部加重練習が高齢者の歩行に与える影響

■授与学会 第46回日本運動療法学会学術集会





# 教職員メディア情報

新聞・雑誌などの取材を受け記事が掲載された、あるいはテレビ・ラジオなどに出演した教職員ほかを紹介します。  
(主に令和3年4月1日～6月30日 ※判明分のみ)

看護学部 上野 昌江 教授	月刊 母子保健第744号 (4月1日)	上野教授が、赤ちゃんや小さな子どもが亡くなってしまふことを防ぐために求められる、保健師や保健機関の役割を解説した「保健師とチャイルド・アセスメント-乳幼児期の死亡を予防する保険期間の役割」と題する寄稿原稿が、図表とともに掲載されました。
関西医科大学	日本経済新聞電子版 (4月12日)	2022年4月に設置予定の「関西医科大学附属光免疫医学研究所」に関して、所長予定者の小林久隆医師(アメリカ国立衛生研究所主任研究員、本学客員教授)が取材を受け、研究所の将来構想や光免疫療法の特徴、今後の見通しなどを説明した内容が掲載されました。
関西医科大学	日本経済新聞 朝刊、朝日新聞 朝刊 (4月13日)	2022年4月に設置予定の「関西医科大学附属光免疫医学研究所」に関して、所長予定者の小林久隆医師(アメリカ国立衛生研究所主任研究員、本学客員教授)が取材を受け、研究所の将来構想や光免疫療法の特徴、今後の見通しなどを説明した内容が掲載されました。
関西医科大学	朝日新聞電子版 (4月13日)	2022年4月に設置予定の「関西医科大学附属光免疫医学研究所」に関して、4/12(月)付で日本経済新聞電子版に掲載されたものと同様の内容が報道されました。
附属病院がんセンター 柴田 伸弘 診療講師	RUNNET「コラム」 (4月16日)	柴田診療講師が取材を受け、がん診療に携わる医療従事者や患者さん・元患者さんなどが参加するランニングクラブ「オンコランナーズ」の活動や、医師の活動とランナーとしての練習との両立方法などを語ったインタビューが、「週刊ランナーズ16月号」に掲載されることが紹介されました。
関西医科大学	日本経済新聞 朝刊 (4月18日)	2022年4月に関西医科大学附属光免疫医学研究所を設置する予定であることが取り上げられ、所長予定者の小林久隆氏のプロフィールや光免疫療法の開発ヒストリー、同氏の「大学や研究機関と連携し、日本の研究を活性化したい」とのコメントと合わせて紹介されました。
附属生命医学研究所神経機能部門 小早川 高 特命准教授	朝日新聞 夕刊(東京本社版) (4月20日)	小早川特命准教授が、匂いによって哺乳類の生命保護機能が起動することを発見し、救急搬送時や外科手術前後の患者さんに対する生存能力の向上が実現するかもしれない、とする研究論文を発表したことが紹介されました。
小児科学講座 赤川 翔平 講師	朝日新聞 夕刊 (4月28日)	赤川講師が発見した、卵アレルギーを持つ小児の腸内細菌叢がそうでない健康な小児のもの比べて多様性に欠けており、細菌の分布バランスが崩れていることを証明した論文について取材を受け、「(食物アレルギーの)新たな治療法を確立したい」とのコメントが紹介されました。
附属生命医学研究所分子遺伝学部門 池田 幸樹 助教	MedT Tech (4月28日)	池田助教と、学校法人常翔学園摂南大学薬学部化学系薬学分野の研究者らが発表した、創薬研究におけるAI(人工知能)の活用において活性を示さない化合物データ(負例)の割合を1,000倍増やすとAIの誤分類が100分の1以下になり、識別能力が格段に向上するとした論文が紹介されました。
関西医科大学	日本経済新聞 朝刊 (4月30日)	2022年4月に関西医科大学附属光免疫医学研究所を設置する予定であることが取り上げられ、現在は一部の頭頸部がんに対して条件付きで承認されている光免疫療法について、対象となるがんの拡大を目指すことや光免疫療法の手法・メリット、開発の経緯、所長予定者の小林久隆氏の「新研究所を拠点に連携や支援をして、日本の研究を活性化させたい」とするコメントなどが掲載されました。
附属生命医学研究所分子遺伝学部門 池田 幸樹 助教	大学ジャーナルONLINE (5月3日)	池田助教と、学校法人常翔学園摂南大学薬学部化学系薬学分野の研究者らが発表した、創薬研究におけるAI(人工知能)の活用において活性を示さない化合物データ(負例)の割合を1,000倍増やすとAIの誤分類が100分の1以下になり、識別能力が格段に向上するとした論文が紹介されました。
関西医科大学	朝日新聞電子版 (5月5日)	2022年4月開設予定の関西医科大学附属光免疫医学研究所が取り上げられ、小林久隆氏が所長に着任する予定であることや、同氏のプロフィール、光免疫療法の開発ヒストリーなどが紹介されました。
外科学講座 海堀 昌樹 診療教授	Medical Tribune (5月8日)	海堀診療教授が行った、肝がんを切除した高齢の患者さんの術後の再発率や生存率を予測できる指標を特定し、これまで身体能力とは無関係に年齢で判断されがちだった術後予測を客観的に行うことができる、とした研究が紹介されました。
関西医科大学	読売新聞 朝刊 (5月9日)	2022年4月開設予定の関西医科大学附属光免疫医学研究所が取り上げられ、所長予定者の小林久隆氏が本学で取材を受けたこと、光免疫療法の特徴や最近の臨床応用状況の他、同氏の「(本学附属光免疫医学)研究を日本の拠点と位置づけ、研究を加速させたい」とのコメントが紹介されました。
関西医科大学	NHK「おはよう関西」 (5月17日)	2022年4月に附属光免疫医学研究所を設置する予定であることが取り上げられ、光免疫療法の仕組みや同研究所の今後の取り組み・計画について紹介された他、米国国立衛生研究所(NIH)小林久隆・主任研究員が所長に就任する予定などが放送されました。
産科学・婦人科学講座 木田 尚子 助教	医療NEWS QLifePro (5月20日)	木田助教らが、たばこ成分が加えられた子宮内膜間質細胞で、正常酸素濃度であっても低酸素誘導因子HIF-1が活性化していることを発見した事が取り上げられました。
産科学・婦人科学講座 木田 尚子 助教	大学ジャーナルONLINE (5月22日)	木田助教らが子宮への喫煙の影響を科学的に分析し、たばこ成分が加えられた子宮内膜間質細胞では、正常酸素濃度であっても低酸素誘導因子HIF-1が活性化していること、低酸素状態と比較して細胞死に関連する遺伝子クラスターが多く発現していることなどを発見した論文が取り上げられました。
関西医科大学	「本がすき。」 (5月31日)	2022年4月開設予定の関西医科大学附属光免疫医学研究所・所長予定者の小林久隆氏が掲載された、同研究所の位置付けや活動の方向性、小林氏が果たす役割などが紹介されました。
内科学第一講座 吉岡 顕頭 准教授	日経メディカル (6月5日)	吉岡准教授が、オンライン開催された米国腫瘍学協会(ASCO2021)において、日本人のALK阻害薬未投与ALK転座陽性非小細胞肺癌(NSCLC)患者さんに対する1次治療として、アレクサニブを投与した場合の全生存期間が、クリゾチニブを投与した場合と差がなかったと明らかにしたことが紹介されました。
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 鈴鹿 有子 学長特任教授	読売新聞電子版「YomiDr」 (6月19日)	鈴鹿学長特任教授が「騒音性難聴」をテーマとする記事で取材を受け、発症のメカニズムや治療法、世界保健機関(WHO)の発表などに触れつつ、「耳を守るために小さな音で聞く習慣を身につけましょう」としたアドバイスが紹介されました。

## 《新型コロナウイルス感染症関連》

内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	関西テレビ「報道ランナー」 (4月2・5・9・12・15・21・22・26・28日、5月3・10・17・18・25・27日、6月1・7・8・22・28・30日)	総合医療センター-救命救急センター-救急医学講座 中森 靖 診療教授	NHK「NHKスペシャル」(5月2日)
附属病院	読売新聞 夕刊(4月5日)	総合医療センター-救命救急センター-救急医学講座 中森 靖 診療教授	NHK「関西のニュース」「ニュース7」(5月2日)
外科学講座 里井 壯平 診療教授	Medical Tribune(4月6日)	総合医療センター-救命救急センター-救急医学講座 中森 靖 診療教授	NHK「クローズアップ現代+」(5月11日)
衛生・公衆衛生学講座 西山 利正 教授	日本経済新聞電子版(4月10・12日)	総合医療センター 衛生・公衆衛生学講座 西山 利正 教授	朝日新聞 朝刊(5月16日) 毎日放送「よんちゃんTV」 (5月17・20・25日、6月9・14日)
総合医療センター-救命救急センター-救急医学講座 中森 靖 診療教授	関西テレビ「報道ランナー」(4月15日)	総合医療センター	TBSラジオ「森本毅郎スタンバイ!日本全国8時です」 (5月18日)
総合医療センター-救命救急センター-救急医学講座 中森 靖 診療教授	テレビ朝日「サンデーステーション」(4月18日、5月2日)	総合医療センター 衛生・公衆衛生学講座 西山 利正 教授	ダイヤモンド・オンライン(5月28日) 読売新聞 朝刊(5月29日)
救急医学講座 鎌方 安行 教授	産経新聞 朝刊(4月19日)	衛生・公衆衛生学講座 西山 利正 教授	日本経済新聞 朝刊(6月3日)
衛生・公衆衛生学講座 西山 利正 教授	朝日新聞 朝刊(4月19日、5月4日)	総合医療センター 内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	毎日放送「よんちゃんTV」(6月3日) 「MBS NEWSチャンネル」(6月11日)
内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	毎日放送「よんちゃんTV」 (4月27・30日、5月4・11・18・26日、6月2・10・17日)	総合医療センター 衛生・公衆衛生学講座 西山 利正 教授	「MBS NEWSチャンネル」(6月11日)
総合医療センター-救命救急センター-救急医学講座 中森 靖 診療教授	TBS「ニュース23」(4月27日)	総合医療センター-救命救急センター-救急医学講座 中森 靖 診療教授	NHK「ニュースほっと関西」(6月18日)
総合医療センター	NHK「ニュースほっと関西」(4月28日、5月11日)	総合医療センター	朝日放送「キャスト」(6月18日)
総合医療センター-救命救急センター-救急医学講座 中森 靖 診療教授	TBS「あさチャン!」(4月28日)	総合医療センター-救命救急センター-救急医学講座 中森 靖 診療教授	NHK「かんさい熱視線」(6月18日)
総合医療センター	朝日新聞電子版(4月30日)	総合医療センター-救命救急センター-救急医学講座 中森 靖 診療教授	読売新聞 朝刊(6月30日)
総合医療センター 谷田 由紀子 看護部長	「看護実践の科学」5月号(5月1日)		

\*このコーナーは主要な放送局、新聞、雑誌の掲載情報に対象ですが、研究成果に関する記事は、その限りではありません。

## 編集後記

早くも梅雨が明け、暑い季節の到来。枚方キャンパスでは、タワー棟(仮称)がいよいよその姿を見せてきました。大学の隣では、枚方市の総合文化芸術センターが完成に近づきつつあります。センターの外縁には、様々な木々が美しく植えられています。少し変化したキャンパス周りの風景を見て心を和ませながら、この季節を乗り越えたいと思います。(さ)

## 関西医科大学広報 Vol.54

発行 学校法人 関西医科大学  
編集 広報戦略室

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1 TEL 072-804-0101(代表)  
FAX 072-804-2638

http://www.kmu.ac.jp/  
E-mail:kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

令和3年7月31日(土)発行